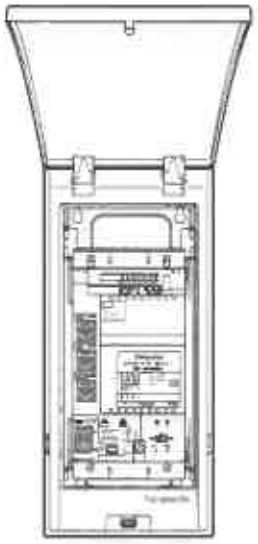
Panasonic

取扱説明書

ECOマネシステム

エネルギーモニター用ユニット

（ボックス収納型）（フカサ124mm） 品番 MKN3015
（ボックス収納型）（フカサ111mm） 品番 MKN3025



保証書別添付
施工説明書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（☞5ページ）を必ずお読みください。

●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

〈はじめに〉 5
安全上のご注意 5
ご注意 6
設置場所を確かめる 9
各部のなまえとはたらき 10
エネルギーモニター用ユニットでできること 12
モジュラジャックについて 16

〈準備編〉 18
インターネットへのつなぎかた 19
ドアホン・センサーカメラ対応ビエラを設定する 22
メニュー画面を見る 27
時刻を設定する 32
暗証番号を設定する 34
表示画面の設定をする 36
各分岐回路の名称を設定する 39
CO2換算係数を設定する 42

〈操作編〉 44
消費電力や太陽光発電などの発電状況を見る 45
分岐回路の電気使用状態を見る 47
省エネの達成状況を見る 49
省エネ目標達成状況を詳しく見る 54
省エネアドバイスを見る 55
CO2収支を確認する 56
電気使用量を確認・比較する 58
分岐回路ごとの電気使用量を確認・比較する 60
ガス使用量を確認・比較する 62
水使用量を確認・比較する 64
太陽光発電の発電量を確認する 66
燃料電池やガス発電の発電量を確認する 68
電力収支を確認する 70
料金に換算して確認・比較する 72
過去実績のデータをダウンロードする 73
「ECHONET Lite」対応エアコンを操作する 74
エアコンの名称（場所名）を変更する 75
ネットワークの状態を確認する 76
宅内に接続されている機器を調べる 77
お知らせ画面について（エネルギーモニターのみ） 78

〈詳細設定編〉 80

エコ設定
省エネ目標値を設定する 81
気になる回路を設定する 84
報知設定をする 86
料金単価を設定する 87
他の機器との接続状態を確認する 95

次ページへ続く

詳細設定

詳細設定項目の選びかた ―― 96
メニューの表示順を変える ―― 97
アクセスの制限を設定する ―― 98
使えない機器を調べる ―― 100
ルーターを交換・変更する ―― 101
ドアホン・センサーカメラ対応ビエラの登録を確認する ―― 102
ドアホン・センサーカメラ対応ビエラの登録を削除する ―― 103
機器別に詳細設定する ―― 104
バージョン情報・MACアドレスを確認する ―― 105
ネットワーク設定を変える ―― 106
ソフトウェアをアップデートする ―― 108

〈トラブル編〉 ―― 110
故障かな?と思ったら ―― 110
エラーメッセージについて ―― 112
LED表示について ―― 118

仕様 ―― 122
ソフトウェアに関するお知らせ ―― 123
接続できる機器について ―― 126
保証とアフターサービス ―― 127

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です。)

⊘	してはいけない内容です。	❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

分解禁止	**絶対に分解したり、改造しない。** 火災・感電の原因となります。
水ぬれ禁止	**水をかけない。** 火災・感電の原因となります。
必ず守る	**異常が発生したときは、電源スイッチを切る。** 守らないと火災・感電の原因となります。

ご注意

■本製品の故障・不具合・誤動作などにより、通信できずに生じた損害などの純粋経済損害に対しましては、当社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。

■本製品に保存された計測データおよび設定データが消失いたしましても保証しておりません。データの消失に伴う損害が発生した場合であっても、当社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。

■本製品をインターネットに接続すると、時刻設定やソフト更新確認のため当社が運営するセンターサーバーと定期的に通信を行います。その際、250～300MB/月の通信パケットが発生しますので、インターネット回線契約は定額制を選択されることを推奨します。

■本製品とセンターサーバーとの通信には、SSLによる暗号化を行っておりますが、インターネットの通信経路において盗聴・不正アクセスなどがなされたことによりお客様の暗証番号・送信情報などが漏洩した場合、そのために生じた損害について当社に責めがある場合を除き、当社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。

■ネットワーク機器・携帯電話端末の障害、インターネットサービスや携帯電話会社の通信サービスの障害または回線不通などや通信手段の障害など、当社の責任によらない原因により本サービスの提供が遅延したり不能となった場合、あるいは送信情報に誤り・脱落などが発生した場合、その損害については当社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。

■「エネファーム」は東京ガス(株)、大阪ガス(株)、新日本石油(株)の登録商標です。

■「エコウィル」は大阪ガス(株)の登録商標です。

▶停電時のご注意

■本製品は予備電源(バッテリー)を内蔵していませんので、停電の場合は動作しません。ただし、保存された計測データおよび設定データは消去されません。(計測データの場合、停電直前の最大1時間分のデータが消去されることがあります。)

■停電復旧後安定動作に入るのに、10分程度かかります。しばらく待ってから再操作してください。

注 設定作業中に停電があった場合は設定情報が保存されませんので、最初からやり直してください。

▶「アクトビラ」対応デジタルテレビ、ドアホン・センサーカメラ対応ビエラに関するご注意

■接続可能な「アクトビラ」対応デジタルテレビ、ドアホン・センサーカメラ対応ビエラ※はパナソニック(株)製です。ただし、パナソニック(株)製であっても接続できない機種がありますので、接続可能な機種につきましては、ECOマネシステムホームページにてご確認ください。ECOマネシステムホームページに掲載されていない「アクトビラ」対応デジタルテレビが接続された場合、画面表示や操作が正しく行えないことがありますのでご了承ください。

※ドアホン子器やセンサーカメラの映像を確認することができるビエラです。参考 126ページ

▶無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のようなセキュリティ問題が発生する可能性があります。

■ 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
・ID、パスワード、通信画像やEメール
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

■ 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人のネットワークへアクセスし、
・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
・傍受した通信内容を書き替えて発信する(改ざん)
・コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
などの行為をされてしまう可能性があります。

上記セキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、お客様が無線LAN製品をご使用になる前に、必ず無線LAN製品のセキュリティに関する設定を無線LAN製品の取扱説明書に従って行ってください。
本件のために生じた損害について当社に責めがある場合を除き、当社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- **ストーブなど高温の物を近づけないで！**
  故障の原因となります。

- **炊飯器など湯気の出る物を下に置かないで！**
  故障の原因となります。

- **テレビ・ラジオなどは2m以上離して！**
  映像や音声が乱れる場合があります。

お手入れ

ふだんのおそうじは…
やわらかい布でふき取ってください。

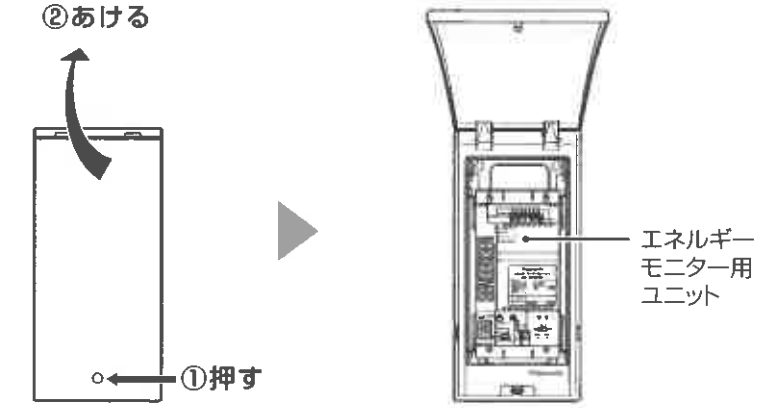
汚れが目立つときは…
中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使用しないでください。

(注) ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

設置場所を確かめる

設置場所は?

●専用ボックス内に取り付けられています。カバーをあけてエネルギーモニター用ユニットが取り付けられていることをお確かめください。



(専用ボックス)

各部のなまえとはたらき

水道端子
パルス発信式流量計（水道）に接続します。

LINK LED
点灯/点滅でリンクまたはデータ送受信状態、色で通信速度および通信モードを表示します。
- 点灯：端末との接続（リンク）が正常
- 点滅：データ送受信状態

緑	100M全二重モード
黄（薄い橙）	100M半二重モード
橙	10M全二重モードまたは半二重モード

設備ポート（1、2）
エネルギーモニターなど、当社製設備機器を接続します。
※当社製設備機器以外を接続するとポートが遮断されます。➡121ページ

ルーターポート
ルーターと接続します。

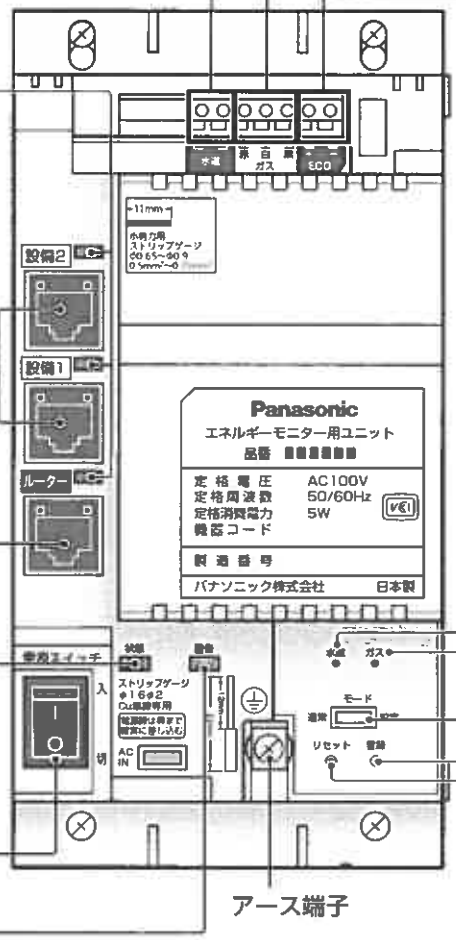
状態LED（緑/赤）
機器の状態を表示します
- 緑点灯：インターネット回線接続中
- 点　滅：症状を確認して処置を行ってください。➡118・119ページ

電源スイッチ
常時「入」にして使用します。

●警告LED（赤）
ネットワークの異常を表示します。
- 消灯：セキュリティ異常はありません。
- 点滅（1秒間に1回）：点滅回数により以下の異常内容を示します。

※約3秒ごとに右記点滅回数をくり返します。
※詳細は「LED表示について」をご参照ください。➡121ページ

点滅回数	異常内容
1回	ポート遮断実施中
2回	帯域制御実施中
3回	接続異常



ガス端子
パルス発信器付ガスメーターに接続します。

ECO端子
ECOマネシステム対応住宅分電盤のデータ送信ユニットに接続します。

水道状態LED（緑）
点灯/消灯でパルス発信式流量計（水道）の接続状態を表示します。➡120ページ
- 消灯：未接続
- 点灯：接続が正常

ガス状態LED（緑）
点灯/消灯/点滅でパルス発信器付ガスメーターとの接続状態を表示します。➡120ページ
- 消灯：未接続
- 点灯：接続が正常
- 点滅：接続が異常

モード切換スイッチ
通常モードと設定モードを切り替えるときに使用します。
- 通常使用時は「通常」側にしてください。

登録ボタン
ドアホン・センサーカメラ対応ビエラを登録するとき先の細い物で3秒以上長押ししてください。➡22ページ
〈通常モードのときのみ有効〉

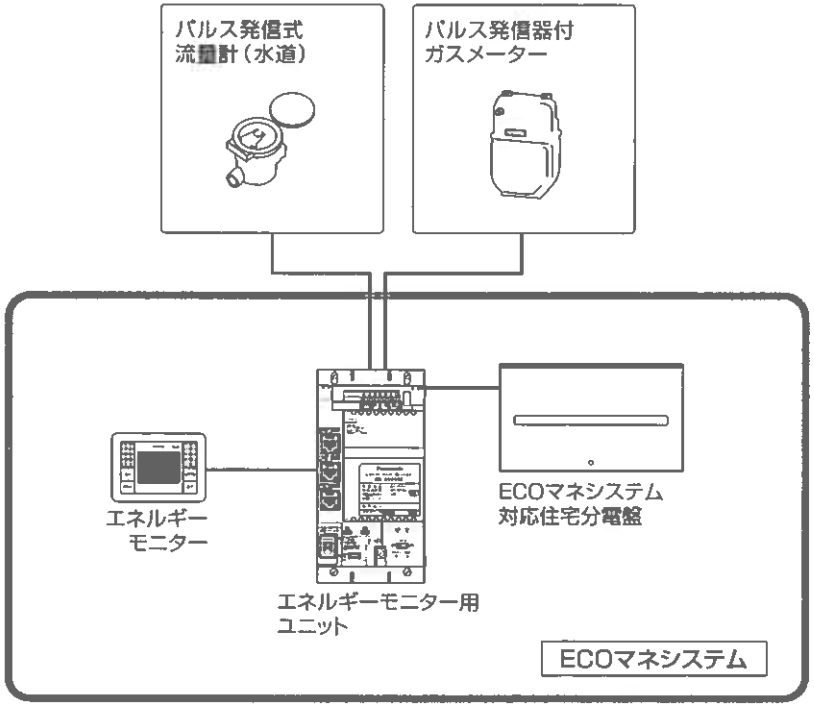
リセットボタン
- **短押し**　ルーター（DHCPサーバー）などの接続機器の交換時に押すと、システム構成をリセットします。〈通常モードのときのみ有効〉
- **長押し（5秒以上）**

〈通常モードのとき〉設定内容がすべて消去されます。保存された計測データは消去されません。
〈設定モードのとき〉保存された計測データがすべて消去されます。設定内容は消去されません。
※モード切換スイッチを「設定」側に切り替えて1分以上経過してから、リセットボタンを長押ししてください。

(注) エネルギーモニターなどの当社製設備機器のLAN配線を変更した場合は、警告LEDでネットワークに異常がないかを必ず確認してください。異常が表示されている場合は「LED表示について」の警告LEDの表をご覧いただいて正しい処置を行ってください。➡121ページ

エネルギーモニター用ユニットでできること

電気・ガス・水の使用量や省エネの達成状況などの確認を行うことができます。



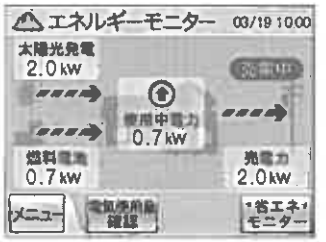
- 「アクトビラ」対応デジタルテレビやパソコンのブラウザで操作することもできます。
参照 29～31ページ

1 発電状況と使用状況などを表示します。（エネルギーモニター画面）

- 太陽光発電などの発電状況や電気の使用状況がひと目でわかります。参照 45・46ページ

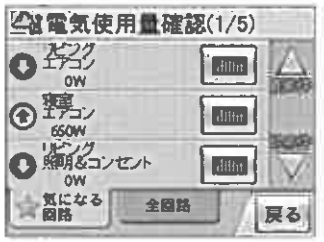
〈ペンギンデザインの場合〉

〈シンプルデザインの場合〉



- 分岐回路の電気使用状態をひと目で確認できます。
参照 47・48ページ

〈気になる回路の場合〉

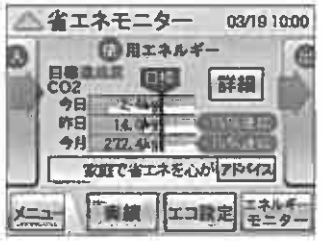


2 省エネ達成状況や実績を表示します。（省エネモニター画面）

- 省エネ目標に対する達成度を確認できます。
参照 49～53ページ

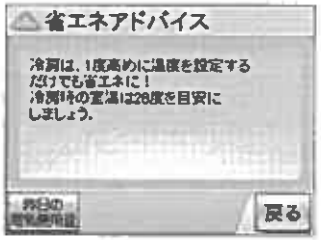
〈ペンギンデザインの場合〉

〈シンプルデザインの場合〉

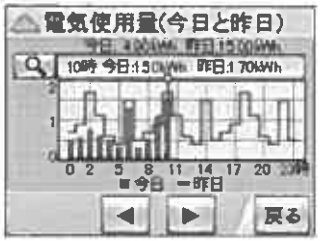


次ページへ続く

• 省エネアドバイスが表示されます。参照 55ページ



• CO2収支や電気・ガス・水などの使用量の実績を確認できます。参照 56～71ページ



(注) 本製品と太陽光発電システム、燃料電池（エネファーム）、ガス発電（エコウィル）、ガスメーター、流量計（水道）ではエネルギー量の計測方法などが異なりますので、各機器で表示される数値に差異が生じる場合があります。

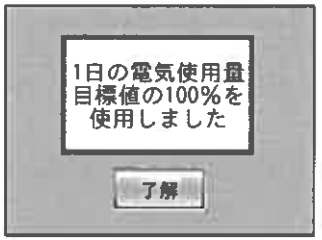
メモ
• エネルギーモニター画面と省エネモニター画面のデザインはペンギンとシンプルから選択することができます。参照 36ページ
• システム構成により表示内容が異なりますので、取扱説明書の画面イラストとお使いの機器の画面内容が異なる場合があります。

3 電気の使いすぎや目標達成状況をお知らせします。

• 家全体（主幹回路）の電気の使いすぎをお知らせします。参照 78ページ

• 分岐回路の電気の使いすぎをお知らせします。参照 78ページ

• 一日の電気使用量の目標値に対する達成状況をお知らせします。参照 78ページ



モジュラジャックについて

ご自宅に設置されているモジュラジャックの種類を確かめて、各機器を正しく接続してください。接続方法の詳細については、準備編をご参照ください。

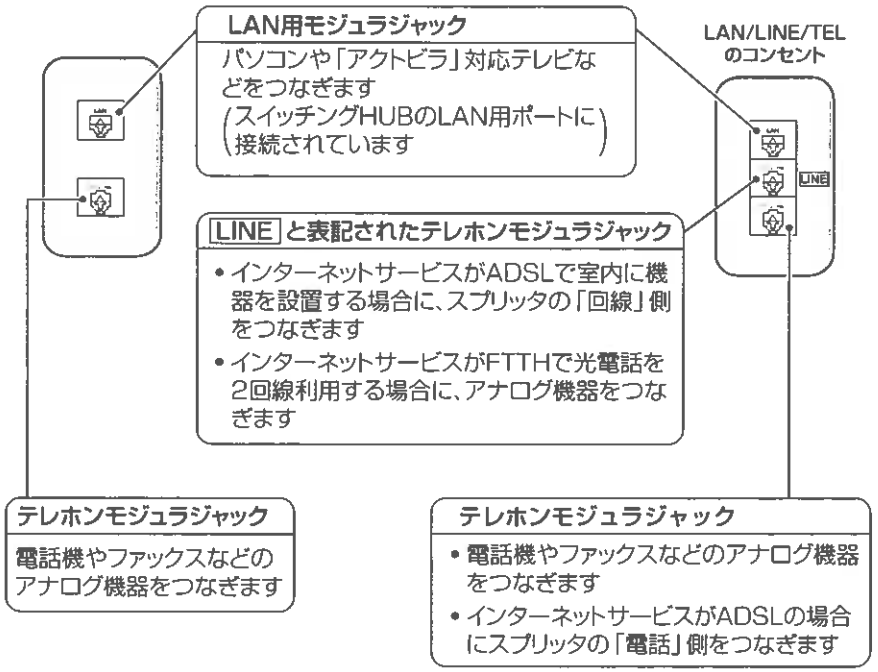
注 電源やテレビなど、他のコンセントと組み合わせて設置されている場合もあります。

■各部屋のコンセント

下記のコンセントが複数箇所に設置されています。

■インターネットの入り口のコンセント

必要に応じて設置されています。



MEMO

準備編

エネルギーモニター用ユニットを操作できるよう基本的な設定を行います。

※すでに施工店などによりこれらの設定をされている場合は、必要ありません。

(注) エネルギーモニター(別売)による操作画面で説明しています。「アクトビラ」対応デジタルテレビやパソコンのブラウザで操作することもできます。参照 29~31ページ

〈準備の流れ〉

インターネットへつなぐ 参照 19~21ページ

▼

ドアホン・センサーカメラ対応ビエラを設定する 参照 22~26ページ

▼

メニュー画面を見る 参照 27~31ページ

▼

時刻を設定する 参照 32・33ページ

▼

暗証番号を設定する 参照 34・35ページ

▼

トップ画面や画面デザインを設定する 参照 36~38ページ

▼

ECOマネシステム対応住宅分電盤の分岐回路の場所名や回路名を設定する 参照 39~41ページ

▼

CO2換算係数を設定する 参照 42・43ページ

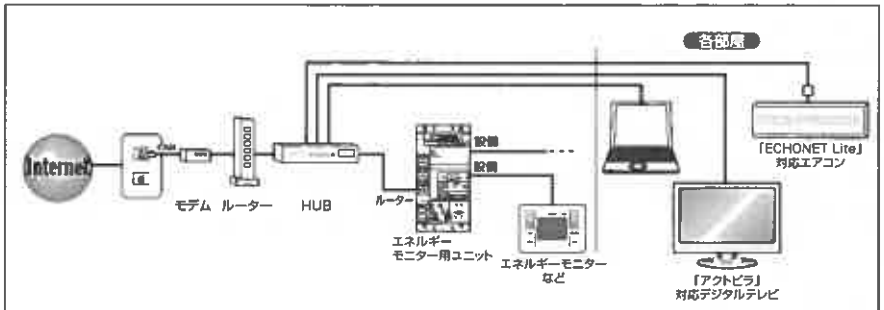
インターネットへのつなぎかた

接続方法は、宅内の回線システムにより異なります。該当するページをお読みいただき、接続・設定を行ってください。

(注) インターネットへの接続は建物の構造により異なるため、ネットワーク設定の変更が必要となる場合があります。

一般的な接続方法

- 別途機器(モデム、ルーター、HUBなど)が必要です。
- 機器の取扱方法につきましては、ご利用の接続サービス会社へお問い合わせください。

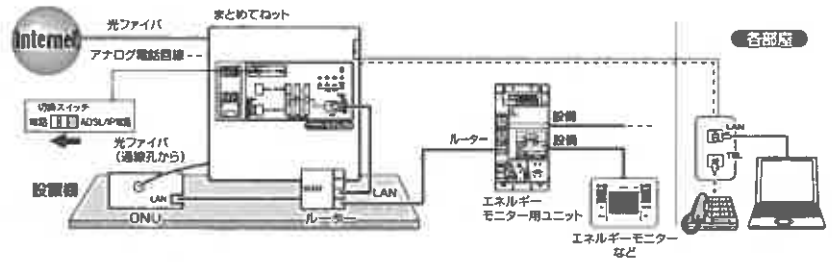


1. LAN用モジュラジャックとモデムをLAN用コードでつなぎます。
2. モデムとルーターをLAN用コードでつなぎます。
3. ルーターとHUBをLAN用コードでつなぎます。
4. HUBとエネルギーモニター用ユニットの「ルーター」ポートをLAN用コードで接続し、「設備」ポートにエネルギーモニターなどをLAN用コードでつなぎます。
5. HUBとパソコン、「アクトビラ」対応デジタルテレビ、「ECHONET Lite」対応エアコンなどをLAN用コードでつなぎます。

まとめてねット※がある場合

※パナソニック(株)製宅内LANパネルを指します。

- 別途機器(メディアコンバーター、ONU、ブロードバンドルーターなど)が必要です。
- 電話機やファックスを使うためにアナログ契約が必要です。
- メディアコンバーター、ONU、光成端箱などの施工および取扱方法につきましてはご利用の接続サービス会社にお問い合わせください。



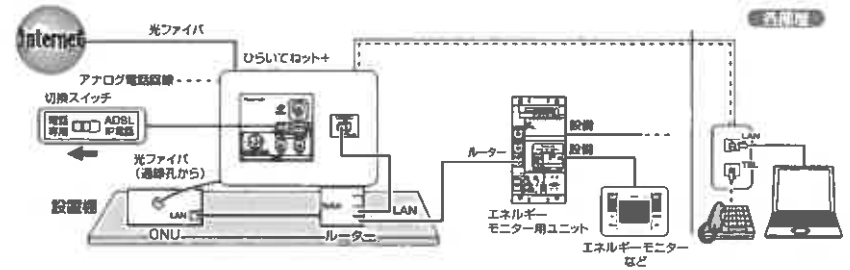
1. まとめてねットの切換スイッチを「電話」側にします。
2. まとめてねット前面のLAN用モジュラジャックとルーターをLAN用コードでつなぎます。
3. ルーターのLAN用モジュラジャックとエネルギーモニター用ユニットの「ルーター」ポートをLAN用コードで接続し、「設備」ポートにエネルギーモニターなどをLAN用コードでつなぎます。
4. 各部屋の電話用モジュラジャックに電話機やファックスなどのアナログ機器を6極2芯テレホンモジュラコードでつなぎます。
5. 各部屋のLAN用モジュラジャックとパソコン、「アクトビラ」対応デジタルテレビ、「ECHONET Lite」対応エアコンなどをLAN用コードでつなぎます。

注
- 接続できるアナログ機器は、3台(合計容量:3μF/2kΩまで)です。
- アナログ機器は、2台以上同時に使用することはできません。
- 1台の電話が通話中に他の電話の受話機を取ると通話が聞こえなくなったり両方で通話が聞こえたりします。

ひらいてねット+(プラス)※がある場合

※パナソニック(株)製宅内LANパネルを指します。

- 別途機器(メディアコンバーター、ONU、ブロードバンドルーターなど)が必要です。
- 電話機やファックスを使うためにアナログ契約が必要です。
- メディアコンバーター、ONU、光成端箱などの施工および取扱方法につきましてはFTTHサービス会社にお問い合わせください。



1. ひらいてねット+の切換スイッチを「電話専用」側にします。
2. ひらいてねット+前面のLAN用モジュラジャックとルーターをLAN用コードでつなぎます。
3. ルーターのLAN用モジュラジャックとエネルギーモニター用ユニットの「ルーター」ポートをLAN用コードで接続し、「設備」ポートにエネルギーモニターなどをLAN用コードでつなぎます。
4. 各部屋の電話用モジュラジャックに電話機やファックスなどのアナログ機器を6極2芯テレホンモジュラコードでつなぎます。
5. 各部屋のLAN用モジュラジャックとパソコン、「アクトビラ」対応デジタルテレビ、「ECHONET Lite」対応エアコンなどをLAN用コードでつなぎます。

注
- 接続できるアナログ機器は、3台(合計容量:3μF/2kΩまで)です。
- アナログ機器は、2台以上同時に使用することはできません。
- 1台の電話が通話中に他の電話の受話機を取ると通話が聞こえなくなったり両方で通話が聞こえたりします。

ドアホン・センサーカメラ対応ビエラを設定する

ドアホン・センサーカメラ対応ビエラのリモコンの［ビエラリンク］ボタンを押すだけでメニュー画面を表示できるようにするには、下記の設定が必要です。

注 ドアホン・センサーカメラ対応ビエラは5台まで設定可能です。

1 ドアホン・センサーカメラ対応ビエラの接続を確認する

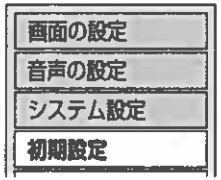
- 操作はビエラの年式や型番によって異なる場合がありますので、お使いのドアホン・センサーカメラ対応ビエラの取扱説明書をお読みください。（下記の操作手順は一例です。）

2 ビエラのリモコンの［メニュー］を押す

➡「ビエラ」メニューが表示されます。

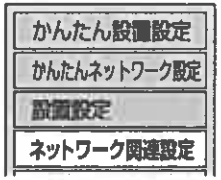
3 ［▲］［▼］で「設定する」を選び、［決定］を押す

4 ［▲］［▼］で「初期設定」を選び、［決定］を押す



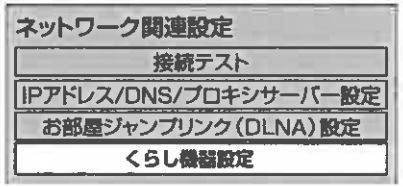
5 ［▲］［▼］で「ネットワーク関連設定」を選び、［決定］を3秒以上長押しする

➡設置設定画面が表示されます。

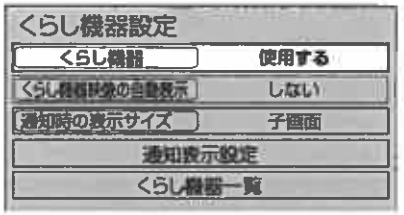


6 ［▲］［▼］で「くらし機器設定」を選び、［決定］を押す

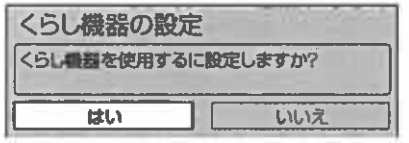
➡くらし機器設定画面が表示されます。



7 ［▲］［▼］で「くらし機器」を選び、［決定］を押す

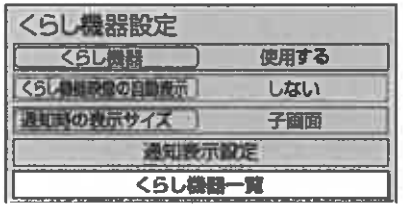


8 ［◀］で「はい」を選び、［決定］を押す



- メッセージを確認したら、［戻る］を押してください。メッセージについては、ドアホン・センサーカメラ対応ビエラの取扱説明書を参照してください。
- エラーメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがって接続状態の確認をしてください。➡ドアホン・センサーカメラ対応ビエラの取扱説明書

9 ［▼］で「くらし機器一覧」を選び、［決定］を押す



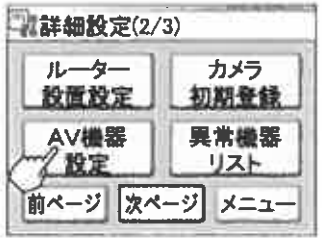
10 リモコンのカラーボタンの［緑］（新規登録）を押す

エネルギーモニターがある場合は24ページへ続く
エネルギーモニターがない場合は26ページへ続く

エネルギーモニターがある場合 (ない場合 26ページ)

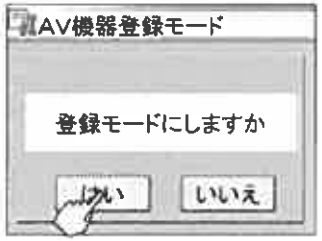
11 設定項目の選択画面で AV機器設定 を選ぶ

96ページ



12 AV機器登録モード を選ぶ

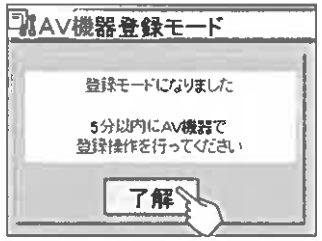
13 はい を選ぶ



14 了解 を選ぶ

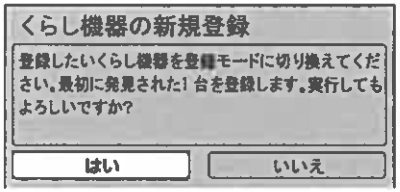
➡状態LEDが6回点滅し、登録モードに切り替わります。

注 登録モードは約5分間経過すると自動的に解除されます。



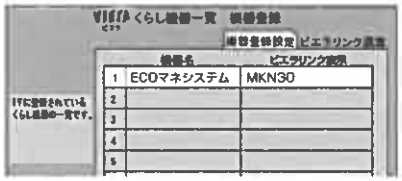
15 エネルギーモニター用ユニットが登録モードであることを確認して、テレビのリモコンの [◀] で「はい」を選び [決定] を押す

➡登録モードのくらし機器を自動検索します。登録が完了すると、登録が完了したくらし機器と機種名が表示されます。表示されない場合は、手順 10 から操作し直してください。



16 カラーボタンの [赤] を押して、「ビエラリンク設定」を選ぶ

➡ビエラリンク設定が表示されます。



17 カラーボタンの [緑] (新規登録) を押す

➡ビエラリンク表示設定画面に項目リストが表示されます。

18 [▲] [▼] で「ECOマネシステム」を選び、[決定] を押す

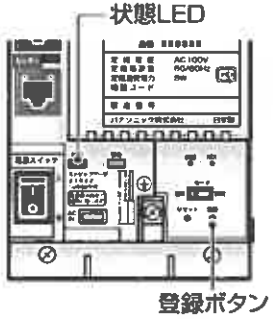
➡ECOマネシステムが、「ビエラリンク」メニューに追加されます。

エネルギーモニターがない場合

11 エネルギーモニター用ユニットの登録ボタンを3秒以上長押しする

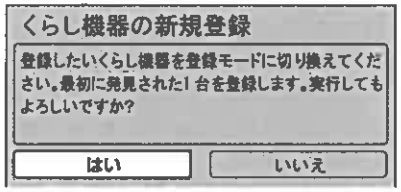
➡状態LEDが6回点滅し（緑）、登録モードに切り替わります。

注 登録モードは約5分間経過すると自動的に解除されます。



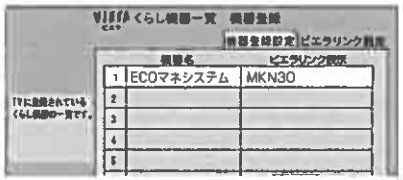
12 エネルギーモニター用ユニットが登録モードであることを確認して、ビエラのリモコンの［◀］で「はい」を選び、［決定］を押す

➡登録モードのくらし機器を自動検索します。登録が完了すると、登録が完了したくらし機器と機種名が表示されます。表示されない場合は、手順10から操作し直してください。



13 カラーボタンの［赤］を押して、「ビエラリンク設定」を選ぶ

➡ビエラリンク設定が表示されます。



14 カラーボタンの［緑］（新規登録）を押す

➡ビエラリンク表示設定画面に項目リストが表示されます。

15 ［▲］［▼］で「ECOマネシステム」を選び、［決定］を押す

➡ECOマネシステムが、「ビエラリンク」メニューに追加されます。

メニュー画面を見る

ルーター接続後約10分経過してから、接続したエネルギーモニターや「アクトビラ」対応テレビ、パソコンなどの端末で、インターネット接続ができることを確認してください。接続ができていれば、メニュー画面を表示させます。

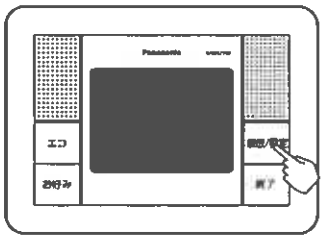
- エネルギーモニター用ユニットの状態LED(緑色)が点灯していればメニュー画面を表示できます。➡10ページ

注 インターネットに接続しない場合でも、ルーターが正しく接続できていればメニュー画面を表示できます。

エネルギーモニターで

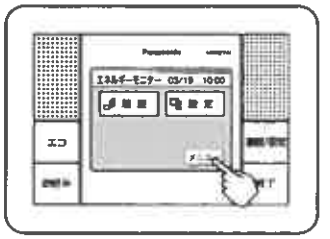
1 履歴/設定ボタンを押す

➡エネルギーモニターの履歴/設定画面が表示されます。



2 メニューをタッチする

➡エネルギーモニター用ユニットのメニュー画面が表示されます。

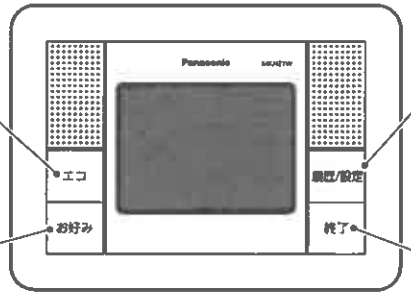


メモ
- エネルギーモニターで何も操作しない状態が約90秒続くと、画面は自動的に消灯します。また、自動消灯までの時間は約180秒に変更可能です。➡エネルギーモニターの取扱説明書
- お住まいに装備されている機器によって、表示されないボタンや使用できない機能があります。この取扱説明書の画面イラストとお使いのエネルギーモニターの表示は異なる場合がありますので、ご了承ください。
- 操作によっては暗証番号の入力が必要な場合があります。暗証番号について➡34ページ

次ページへ続く

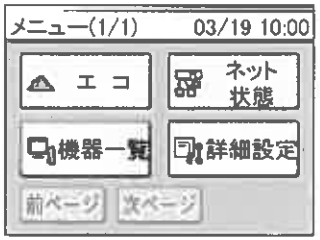
■エネルギーモニターの各ボタンのはたらき

注 各ボタンの詳細については、
エネルギーモニターに付属の説明書を参照してください。



■メニュー画面各ボタンについて

各ボタンを選ぶと、それぞれの操作ができます。



各画面に共通なボタンの役割

前ページ	選んでいる項目の画面が複数ページにわたっている場合、前ページを選ぶと1ページ前の画面に移動します
次ページ	選んでいる項目の画面が複数ページにわたっている場合、次ページを選ぶと1ページ後ろの画面に移動します
戻 る	戻るを選ぶと現在より1つ前に表示させていた画面に戻ります
メニュー	メニューを選ぶとメニュー画面を表示させます

• グレーで表示されている画面上のボタンは選んでも動作しません。

「アクトビラ」対応テレビで

1 「アクトビラ」を起動する

2 エネルギーモニター用ユニットのIPアドレスを調べる

注 「固定IPアドレス」でお使いの場合は、この操作は必要ありません。手順**3**で固定アドレスを入力して実行してください。

①お使いの「アクトビラ」対応テレビのIPアドレスを確認する

• 確認方法は、テレビに付属の取扱説明書をお読みください。
<メモ欄>□□□.□□□.□□□.□□□

②「アクトビラ」対応テレビのIPアドレスの一番右の数字ブロックを「220」としたものがエネルギーモニター用ユニットのアドレスとなります

<メモ欄>□□□.□□□.□□□.220

• たとえばテレビのIPアドレスが「192.168.1.12」であれば
エネルギーモニター用ユニットのIPアドレスは「192.168.1.220」となります。

注 ルーター(DHCPサーバー)を接続していない場合は、「アクトビラ」対応テレビのIPアドレスが「169.254.xxx.xxx」(xxxは0から255までのいずれかの数字を表します)となります。この場合は、「169.254.220.220」がエネルギーモニター用ユニットのアドレスとなります。
(たとえばテレビのIPアドレスが「169.254.1.12」であれば、エネルギーモニター用ユニットのIPアドレスは「169.254.220.220」となります。)

3 アドレス入力欄にエネルギーモニター用ユニットのIPアドレスを入力して実行する

アドレス(URL)
http://□□□.□□□.□□□.220
(IPアドレス)

例) http://192.168.1.220

• アドレスを「お好みページ」に登録すると、次回から簡単に呼び出せます。

➡メニュー画面が表示されます。

ドアホン・センサーカメラ対応ビエラで

ビエラでライフィニティのメニュー画面を表示するには22ページから26ページの設定が必要です。

1 ビエラのリモコンの[ビエラリンク]を押す

➡「ビエラリンク」メニューが表示されます。

2 [▲][▼]で「ライフィニティ」を選び、[決定]を押す

➡メニュー画面が表示されます。

パソコンで

1 パソコンのブラウザを起動する

注 • パソコンのブラウザはMicrosoft Internet Explorer(IE)6.0以降をお使いください(Microsoft社のホームページからダウンロードできます)。その他のブラウザの動作保証はいたしておりません。

• 表示にJava Scriptを使用している部分があります。Java Scriptの設定を無効にしていると正しく表示されない場合がありますので、ご利用のブラウザのJava Scriptを有効にしてください。

2 エネルギーモニター用ユニットのIPアドレスを調べる

注 「固定IPアドレス」でお使いの場合は、この操作は必要ありません。手順**3**で固定アドレスを入力して実行してください。

①お使いのパソコンのIPアドレスを確認する

• 確認方法はOSによって異なります。パソコンのヘルプなどでお調べください。

例) WindowsXP

• 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を選ぶ

• コマンドプロンプト上で「ipconfig」を入力してEnterキーを押す

• IP Address 行に表示される数字がパソコンのＩＰアドレスです。

<メモ欄>□□□.□□□.□□□.□□□

②パソコンのIPアドレスの一番右の数字ブロックを「220」としたものがエネルギーモニター用ユニットのアドレスとなります

<メモ欄>□□□.□□□.□□□.220

• たとえばパソコンのIPアドレスが「192.168.1.12」であれば
エネルギーモニター用ユニットのIPアドレスは「192.168.1.220」となります。

注 ルーター(DHCPサーバー)を接続していない場合は、パソコンのIPアドレスが「169.254.xxx.xxx」(xxxは0から255までのいずれかの数字を表します)となります。この場合は、「169.254.220.220」がエネルギーモニター用ユニットのアドレスとなります。

(たとえばパソコンのIPアドレスが「169.254.1.12」であれば、エネルギーモニター用ユニットのIPアドレスは「169.254.220.220」となります。)

3 wwwブラウザのURLアドレス入力欄に、エネルギーモニター用ユニットのIPアドレスを入力し、[Enter]キーを押すか、[移動]ボタンをクリックする

例) アドレス(D) 192.168.1.220

• アドレスを「お気に入り」に登録すると、次回から簡単に呼び出せます。

➡メニュー画面が表示されます。

注 この取扱説明書ではエネルギーモニター(27ページ)画面で操作を説明しています。「アクトビラ」やパソコンでの基本操作はエネルギーモニターの場合と同じですが、以下の点が異なります。

• ボタンの選びかたは画面をタッチするのではなく、リモコン(「アクトビラ」)、キーボードやマウス(パソコン)による選択・実行操作となります。

• 表示面積の違いにより、画面構成が異なります。

時刻を設定する

宅内のシステム全体を管理するための現在時刻を設定します。

注 • エネルギーモニター用ユニットがインターネットに接続されている場合、自動的に時刻設定されますのでこの操作は不要です。
• 長時間通電されなかった場合、「00/00 00:00」に戻ることがありますので、再度設定してください。

1 メニュー画面を表示させる

参照 27ページ

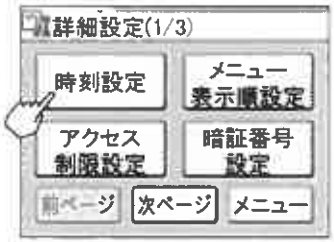
• メニュー画面の右上に、エネルギーモニター用ユニットに設定されている時刻が表示されます。

2 詳細設定を選ぶ

➡詳細設定(1/3)画面が表示されます。

3 時刻設定を選ぶ

➡時刻設定画面が表示されます。



4 変更したい項目(年/月/日/時/分)の変更を選ぶ

➡数値入力画面が表示されます。

5 数字を選んで数値を入力して、確定を選ぶ

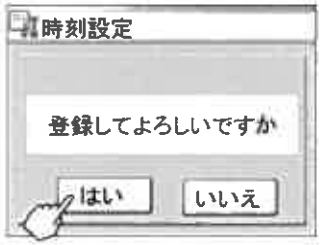
• クリアを選ぶと入力した数値が消去されます。
• 手順 4・5 をくり返して年、月、日、時、分を設定してください。
• 2013年1月1日00:00から2037年12月31日23:59の範囲で設定してください。

6 設定が終われば登録を選ぶ

➡確認画面が表示されます。

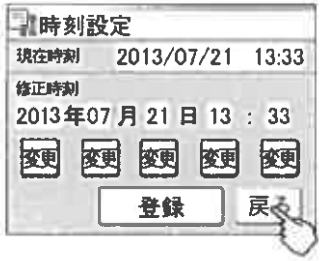
7 はいを選ぶ

➡時刻設定画面が表示されます。現在時刻が正しく設定されていることを確認してください。
• いいえを選ぶと前画面に戻ります。



8 戻るを選ぶ

➡詳細設定(1/3)画面に戻ります。



暗証番号を設定する

アクセス制限設定などをする際には誤操作を防ぐため、暗証番号入力が要求されます。ご自分の暗証番号を設定してください。

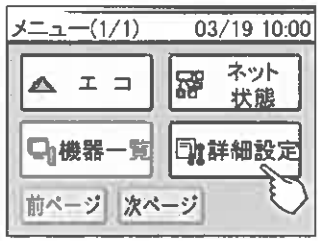
- 初期設定番号は「0000」です。

1 メニュー画面を表示させる

27ページ

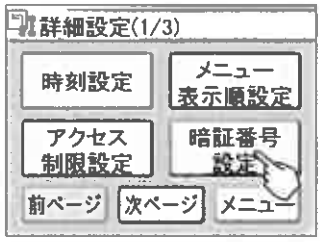
2 詳細設定を選ぶ

➡詳細設定(1/3)画面が表示されます。



3 暗証番号設定を選ぶ

➡古い暗証番号入力画面が表示されます。



4 「0000」(初期設定番号)を入力して入力を選ぶ

➡新しい暗証番号入力画面が表示されます。

- すでに入力設定した暗証番号を変更する場合は、古い暗証番号を入力して入力を選んでください。

5 新しい暗証番号(4ケタ)を入力して登録を選ぶ

➡確認画面が表示されます。

- 設定した番号はメモしておいてください。
  暗証番号を忘れてしまった場合は、モード切換スイッチを「設定」側にしてからリセットボタンを5秒以上押して工場出荷状態に初期化してください。11ページ

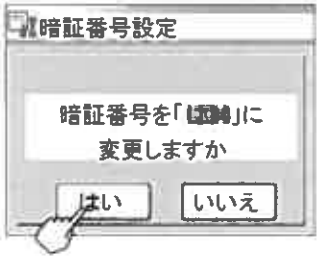
※すべての設定内容が初期化されますのでご注意ください。

- クリアを選ぶと入力した数値が消去されます。

6 はいを選ぶ

➡暗証番号が設定されて詳細設定画面に戻ります。

- いいえを選ぶと新しい暗証番号入力画面に戻ります。



表示画面の設定をする

エコ を選んだときにエネルギーモニター画面と省エネモニター画面のどちらを表示させる画面にするか、また、これらの画面デザインをペンギンのアニメデザインにするかシンプルデザインにするか選びます。

- 工場出荷時は エコ を選んだときに表示させる画面が「省エネモニター」（太陽光発電などの発電設備がある場合は「エネルギーモニター」）、画面デザインは「ペンギン」に設定されています。

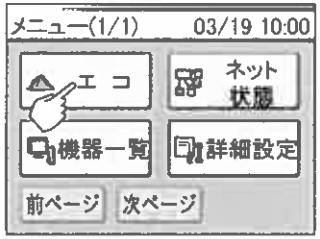
1 メニュー画面を表示させる

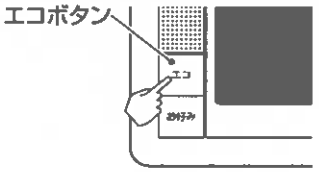
➡27ページ

2 エコ を選ぶ

➡省エネモニター画面が表示されます。

- エネルギーモニター画面が表示された場合は、その画面で 省エネモニター を選んでください。
- エネルギーモニターをお使いの場合は、エコ ボタンを押すと省エネモニター画面が表示されます。



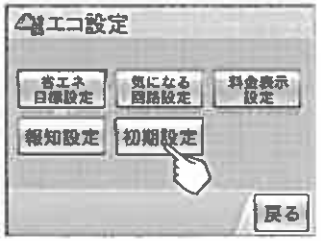


3 エコ設定 を選ぶ

➡エコ設定画面が表示されます。

4 初期設定 を選ぶ

➡初期設定画面が表示されます。



5 画面設定 を選ぶ

➡画面設定画面が表示されます。

6 エコトップ画面の 省エネモニター エネルギーモニター いずれかを選ぶ

- 選んだ画面がメニュー画面で エコ を選んだときに表示されます。

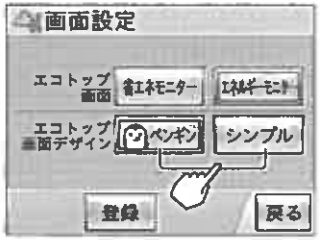
［エコトップ画面例（ペンギンデザインの場合）］

〈省エネモニター画面の場合〉

〈エネルギーモニター画面の場合〉

次ページへ続く

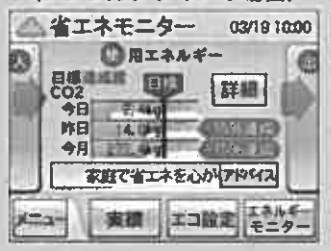
7 エコトップ画面デザインの
ペンギン シンプル
いずれかを選ぶ



[画面デザイン例（省エネモニター画面の場合）]

〈ペンギンデザインの場合〉

〈シンプルデザインの場合〉



8 登録 を選ぶ

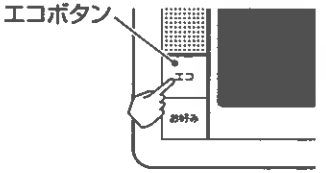
9 了解 を選ぶ

各分岐回路の名称を設定する

画面に表示されるECOマネシステム対応住宅分電盤の分岐回路の名前を、ご自分のわかりやすい場所名、回路名に設定します。ここでの設定は、電気使用量確認画面（59ページ）や回路別使用量画面（61ページ）に反映されます。ECOマネシステム対応住宅分電盤の電気回路配線は、住宅分電盤に同梱されている「電気回路配線確認シート」を参考にしてください。シートがない場合は、施工店にご確認ください。なお、回路電圧（100Vまたは200V）も設定できます。

1 メニュー画面を表示させる
27ページ

2 エコ を選ぶ
➡省エネモニター画面が表示されます。
- エネルギーモニター画面が表示された場合は、その画面で 省エネモニター を選んでください。
- エネルギーモニターをお使いの場合は、エコ ボタンを押すと省エネモニター画面が表示されます。



3 エコ設定 を選ぶ
➡エコ設定画面が表示されます。

4 初期設定 を選ぶ
➡初期設定画面が表示されます。

次ページへ続く

5 回路設定 を選ぶ

➡回路設定画面が表示されます。

6 設定する回路を選んで 変更 を選ぶ

- 表示が複数画面にわたっている場合は△、▽で切り替えてください。

7 変更する項目を選んで 変更 を選ぶ

場所名称：場所の名称
回路名称：回路の名称
回路電圧：100Vあるいは200Vの選択

- 回路名称が太陽光発電、燃料電池の場合は、回路電圧は表示されません。

8 それぞれを設定する

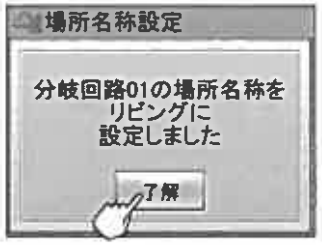
場所名称を変更する場合

① 名称を選んで 登録 を選ぶ

- △、▽で選択画面を切り替えてください。

② 了解 を選ぶ

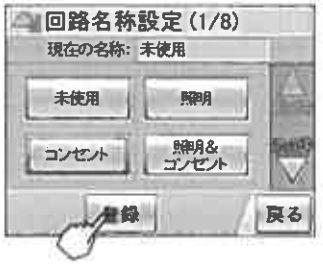
➡手順 7 の画面が表示されます。



回路名称を変更する場合

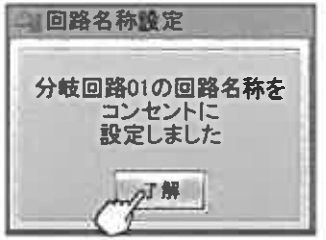
① 名称を選んで 登録 を選ぶ

- △、▽で選択画面を切り替えてください。



② 了解 を選ぶ

➡手順 7 の画面が表示されます。



回路電圧を変更する場合

① 100V あるいは 200V を選んで 登録 を選ぶ

➡確認画面が表示されますので 了解 を選んでください。

➡手順 7 の画面が表示されます。

注 200V機器をご購入された場合、手順 7 の画面でまず回路電圧を確認ください。回路電圧が100Vと表示されている場合に、この手順で200Vに変更してください。

9 必要な回路について、手順 6 ～ 8 をくり返す

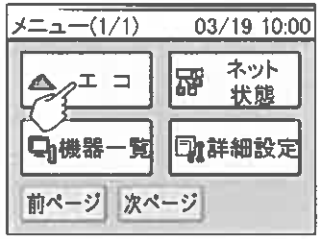
「アクトビラ対応デジタルテレビやパソコンのブラウザの場合」

手順 8 の場所名称設定画面あるいは回路名称設定画面で その他 を選ぶと全角8文字までのお好きな名称を設定することができます。

CO2換算係数を設定する

電気・ガス・水の使用によるCO2排出量の換算係数と太陽光発電などの発電によるCO2削減量換算係数をそれぞれで設定します。CO2換算係数は環境省や各エネルギー供給会社から発表される最新の係数をご確認ください。係数は毎年更新されますので、1年ごとに設定を変更されることをおすすめします。

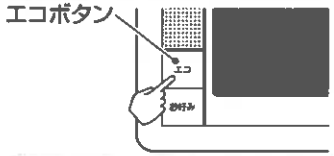
1 メニュー画面を表示させる
27ページ



2 エコ を選ぶ

➡省エネモニター画面が表示されます。

- エネルギーモニター画面が表示された場合は、その画面で 省エネモニター を選んでください。
- エネルギーモニターをお使いの場合は、エコ ボタンを押すと省エネモニター画面が表示されます。



3 エコ設定 を選ぶ

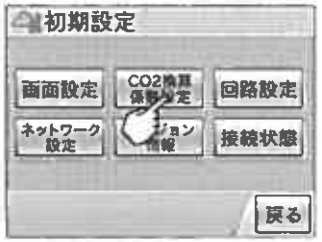
➡エコ設定画面が表示されます。

4 初期設定 を選ぶ

➡初期設定画面が表示されます。

5 CO2換算係数設定 を選ぶ

➡CO2換算係数設定画面が表示されます。



6 設定するエネルギーを選んで 変更 を選ぶ

- 各エネルギー係数の初期値は、パナソニックグループで決めた数値になっています。

7 ◀ ▶ を使って入力欄（黄色表示）を選び、数値を入力して 登録 を選ぶ

- クリア を選ぶと入力した数値が消去されます。
- 初期値 を選ぶと工場出荷時の値に戻ります。

8 了解 を選ぶ

9 必要な項目について手順 6～8 をくり返す

メモ

- 入力値が範囲外の場合は右のような画面が出ますので 了解 を選んで設定し直してください。
- 工場出荷時はパナソニックグループで決めているCO2排出係数に基づく数値に設定されています。（2010年9月現在）
  電気：0.43kgCO2/kWh
  ガス：2.2kgCO2/m³（都市ガス）
  水　：0.23kgCO2/m³
  太陽光発電：0.43kgCO2/kWh
  燃料電池：0.43kgCO2/kWh

操作編

▶ 太陽光発電などの発電状況をはじめ家庭内のエネルギーの使用状況や省エネ状況の確認が、パソコンや「アクトビラ」対応デジタルテレビ、エネルギーモニター（別売）でできます。
「操作編」では、これらの操作例を説明します。

注 • エネルギーモニター（別売）による操作画面で説明しています。「アクトビラ」対応デジタルテレビやパソコンのブラウザで操作することもできます。参照 29～31ページ

• お住まいに装備されている機器によっては、この取扱説明書で説明されている機能でも、ご利用になれないものがあります。

• システムに接続されている機器の種類や台数によって、操作画面は異なります。

消費電力や太陽光発電などの発電状況を見る

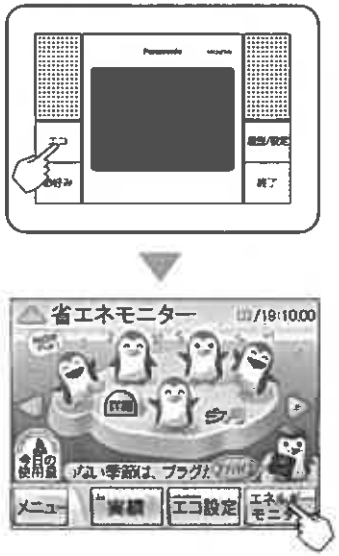
現在の消費電力や、太陽光発電などの発電状況を確認できます。

1 エコ ボタンを押す

➡省エネモニター画面が表示されます。

• 初期設定の画面設定（参照 36ページ）でエコトップ画面を「エネルギーモニター」に設定している、あるいは太陽光発電などの発電設備がある場合にはエネルギーモニター画面が表示されます。手順 **3** に進んでください。

• 「アクトビラ」対応デジタルテレビやパソコンで操作する場合は、メニュー画面から エコ を選んでください。（メニュー画面の表示方法 参照 29～31ページ）

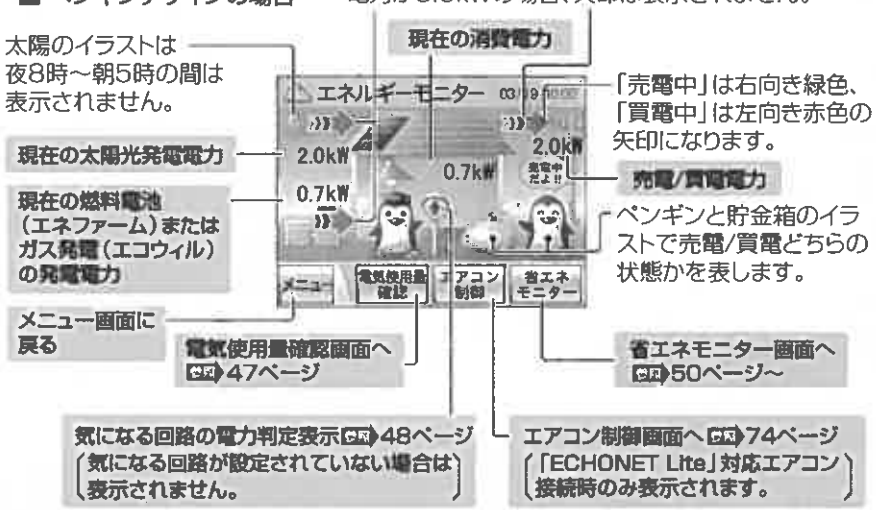


2 エネルギーモニター を選ぶ

➡エネルギーモニター画面が表示されます。

3 発電状況を確認する

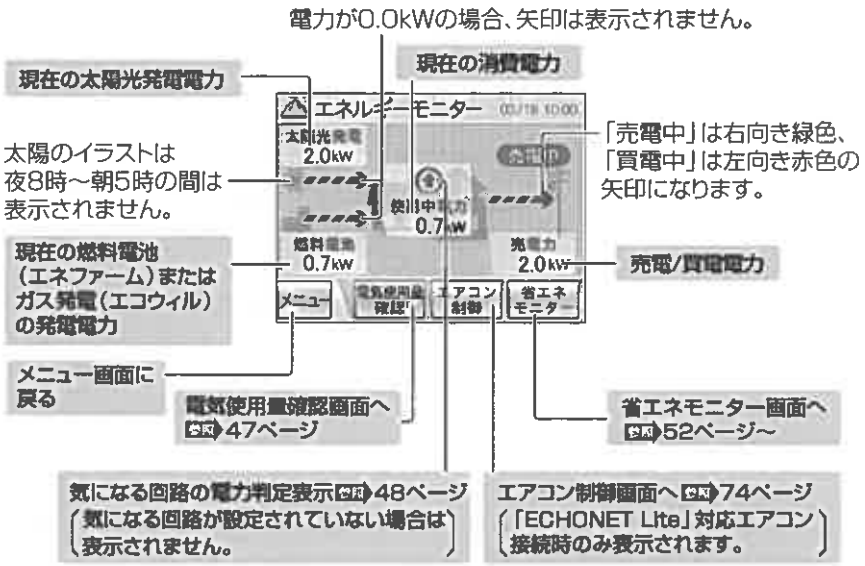
■ ペンギンデザインの場合



注 表示される電力数値は9.9kWが最大値です。

次ページへ続く

■ シンプルデザインの場合



注 表示される電力数値は9.9kWが最大値です。

メモ
- 太陽光発電や燃料電池、ガス発電に関するイラストや数値などは、それぞれが接続されていない場合は表示されません。
- 画面デザイン（ペンギン・シンプル）を変更したい場合は、初期設定の画面設定で、エコトップ画面デザインを設定してください。 36ページ

分岐回路の電気使用状態を見る

宅内のすべての分岐回路の現在の消費電力を確認できます。また、あらかじめ「気になる回路設定」（ 84ページ）をしておくと、それらの回路の消費電力と設定された消費電力に対する判定結果を確認することができます。

注 **各分岐回路ごとの電気使用量および消費電力は簡易的な計測法（消費電力×電圧、力率＝1（固定））を採用しているため、電気機器の種類（インバータ製品など）や動作状況によって実際の使用量とは異なり、数値が大きく表示される場合があります。また、20W未満（200V機器は40W未満）は計測できず、「0W」と表示されます。（家全体の電気使用量の場合は20W未満の値も表示されます。）表示される数値はあくまで目安としてご活用ください。**

⚠警告

必ず守る

アイロン、電気ストーブなどの電熱機器のON/OFF（入/切）の確認は、必ず電熱機器の電源スイッチで必ず確認する。

守らないと火災の原因となります。

電熱機器は、電源スイッチがON（入）であっても、過熱防止のためにヒーター回路が自動的に切れたり入ったりします。電熱機器のヒーター回路が切れていると、消費電力が極めて小さく、本製品では消費電力を計測できませんので、電熱機器のON/OFF（入/切）の判断に本製品を使わないでください。

1 エネルギーモニター画面を表示させる

45ページ

2 電気使用量確認 を選ぶ

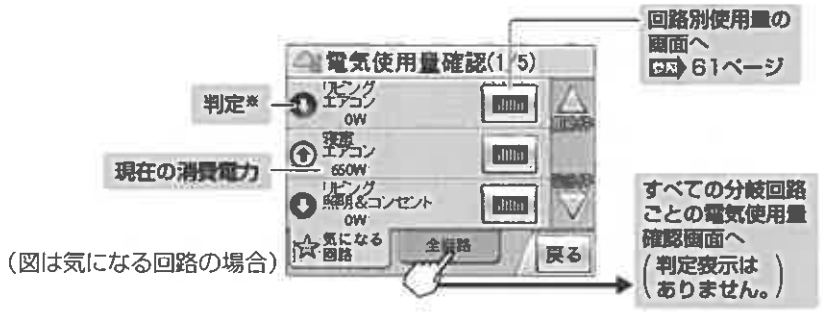
➡電気使用量確認画面が表示されます。

- 「気になる回路が設定されておりません」と表示された場合は「気になる回路設定」を行ってください。 84ページ

次ページへ続く

3 電気使用状態を確認する

- 気になる回路、全回路を選んで確認する回路を選びます。
- 回路表示が複数ページにわたっている場合は △、▽ で切り替えてください。



(図は気になる回路の場合)

※判定は、気になる回路設定で設定した判定値以上の場合は ⇧、未満であれば ⇩ が表示されます。判定値以上の回路が1つでもあればエネルギーモニター画面に ⇧ (ペンギンデザイン 45ページ) / ⇧ (シンプルデザイン 46ページ) が表示されます。

省エネの達成状況を見る

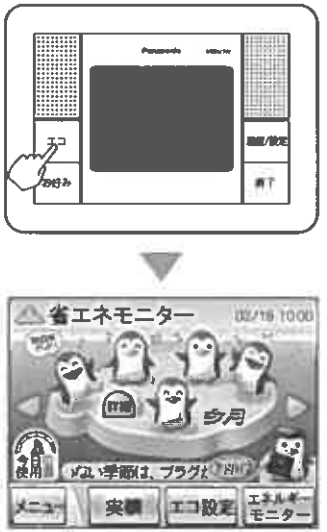
家庭内の電気・ガス・水の使用状況、省エネの達成状況を確認できます。省エネアドバイスを見ることもできます。

- 省エネの達成状況・達成度とは、設定した省エネ目標値 (81ページ) に対する実際の達成度を、CO2排出量の割合で表したものです。

1 エコ ボタンを押す

➡省エネモニター画面が表示されます。

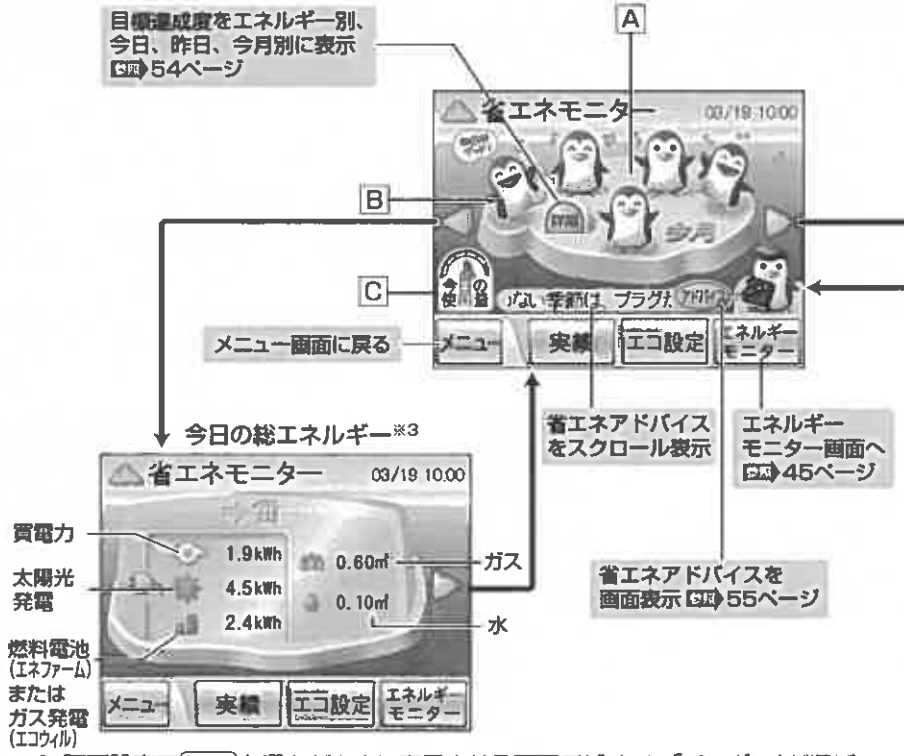
- 初期設定の画面設定 (36ページ) でエコトップ画面を「エネルギーモニター」に設定している、あるいは太陽光発電などの発電設備がある場合にはエネルギーモニター画面が表示されますので、その画面で 省エネモニター をタッチしてください。
- 「アクトビラ」対応デジタルテレビやパソコンで操作する場合は、メニュー画面から エコ を選んでください。(メニュー画面の表示方法 29~31ページ)



次ページへ続く

2 省エネの達成状況を確認する

■ ペンギンデザイン※1の場合



※1 画面設定で エコ を選んだときに表示させる画面デザインに「ペンギン」が選ばれている場合の画面です。 36ページ

※2 省エネ目標値は月単位で設定します。「昨日の」あるいは「今日の」達成経過は、月単位で設定した目標値を日割り計算で判定します。 81ページ

※3 今日(0時から現在時刻まで)の電気・ガス・水の使用量および発電量(発電設備がある場合)のそれぞれの数値表示です。

※4 今日(0時から現在時刻まで)のCO2排出量と削減量(発電設備がある場合)および売電力量(太陽光発電がある場合)のそれぞれの数値表示です。

- 省エネの達成状況・達成度とは、設定した省エネ目標値(81ページ)に対する実際の達成度を、CO2排出量の割合で表したものです。
- CO2排出量は電気・ガス・水の使用によるCO2排出量換算の合計、CO2削減量は太陽光発電などの発電によるCO2削減量換算の合計になります。(換算係数について 42ページ)

A

氷の上に乗っているペンギンの数で「今月の」省エネ目標※2達成状況を示します。

がんばろう!(15%以上オーバー) もう少しがんばろう!(約10%オーバー) この調子!(±5%程度) グッド!(約10%マイナス)

- 達成率に応じて氷の上にいるペンギンの数が増減します。5匹のペンギンが氷の上にいるように省エネを行いましょう。

とってもグッド!(15%以上マイナス)

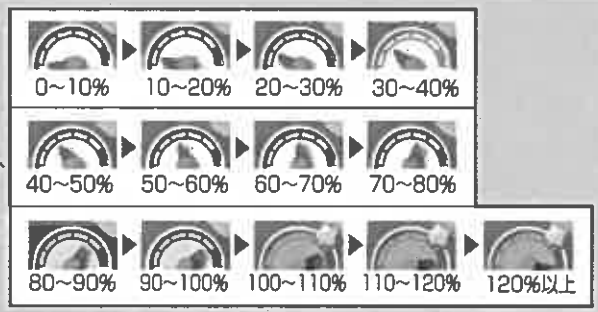
B

一番左のペンギンが「昨日の」省エネ目標※2達成結果をお知らせします。

C

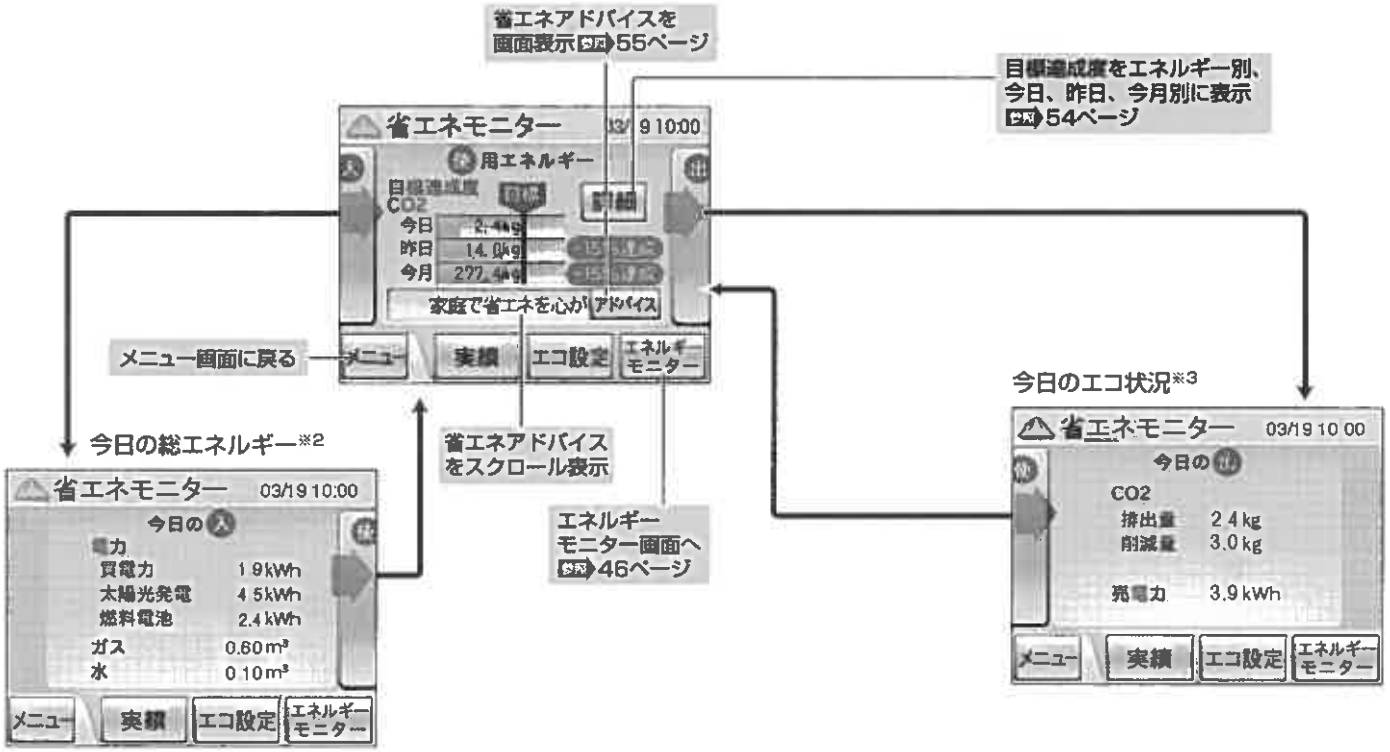
省エネ目標値※2に対する「今日の」CO2排出量をメーターで示します。

- 電気・ガス・水を使用するにつれてCO2排出量が増えると針が右に振れ、メーターの色が目標値の80%を超えると黄色に、目標値を超えると赤色に変わります。



省エネの達成状況を見る

■ シンプルデザイン※1の場合



※1 画面設定で[エコ]を選んだときに表示させる画面デザインに「シンプル」が選ばれている場合の画面です。 36ページ

※2 今日(0時から現在時刻まで)の電気・ガス・水の使用量および発電量(発電設備がある場合)のそれぞれの数値表示です。

※3 今日(0時から現在時刻まで)のCO2排出量と削減量(発電設備がある場合)および売電力量(太陽光発電がある場合)のそれぞれの数値表示です。

- 省エネの達成状況・達成度とは、設定した省エネ目標値(81ページ)に対する実際の達成度を、CO2排出量の割合で表したものです。
- CO2排出量は電気・ガス・水の使用によるCO2排出量換算の合計、CO2削減量は太陽光発電などの発電によるCO2削減量換算の合計になります。(換算係数について 42ページ)

省エネ目標達成状況を詳しく見る

電気・ガス・水ごとに目標達成状況を確認できます。

- 省エネの達成状況・達成度とは、設定した省エネ目標値（参照 81ページ）に対する実際の達成度を、CO2排出量の割合で表したものです。

1 省エネモニター画面を表示させる

参照 49ページ

（ベンギン画面の場合）

2 詳細 を選ぶ

➡目標達成度詳細画面が表示されます。

3 電気 ガス 水 ごとに選んで確認する

- 戻る を選ぶと省エネモニター画面に戻ります。

省エネアドバイスを見る

省エネに関するアドバイスを読むことができます。
（アドバイスは日によって異なります。）

1 省エネモニター画面を表示させる

参照 49ページ

（ベンギン画面の場合）

2 アドバイス を選ぶ

➡省エネアドバイス画面が表示されます。

3 アドバイスを読む

- 戻る を選ぶと省エネモニター画面に戻ります。
- 昨日の電気使用量 を選ぶと昨日の電気使用量（トップ3）画面が表示されますので参考にしてください。
- 省エネモニター を選ぶと省エネモニター画面に戻ります。

メモ
- 省エネアドバイスには、おもに昨日の電気使用量が一番多い分岐回路についてのアドバイスを表示しますので、省エネ行動の参考にしてください。

CO2収支を確認する

家庭内のエネルギー全体のCO2排出量とCO2削減量の収支の過去実績を今日・昨日、今月・先月、今年・去年で確認することができます。

1 省エネモニター画面を表示させる

49ページ

2 実績 を選ぶ

➡実績画面が表示されます。

3 CO2収支 を選ぶ

- CO2収支画面が表示されます。

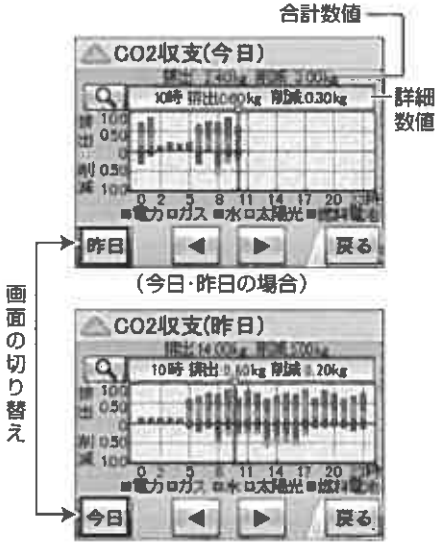
4 今日・昨日 今月・先月 今年・去年 から表示単位を選ぶ

「アクトビラ対応デジタルテレビやパソコンのブラウザの場合」

手順 **6** で見たいポイント ① を直接クリックして選ぶことができます。
（ほかの実績画面でも同じです。）

5 CO2収支を確認する

- 各エネルギーが色分けして表示されます。



6 詳細情報を見る場合

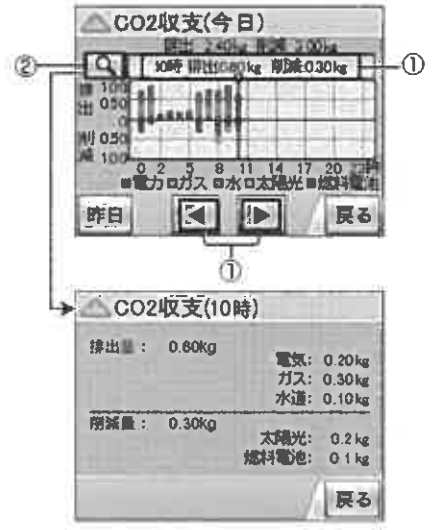
① ◀ ▶ で見たいポイント（時/日/月）を選ぶ

➡グラフの上に、選んだポイントの数値が表示されます。

② 🔍 を選ぶ

➡詳細画面が表示されます。

- 戻る を選ぶと前画面に戻ります。



メモ
- CO2排出量とは、電気・ガス・水の使用量をCO2換算した値の合計数値、CO2削減量とは、太陽光発電などの発電量をCO2換算した値の合計数値です。
- CO2換算係数について 42ページ

電気使用量を確認・比較する

家全体の電気使用量の過去実績を今日・昨日、今月・先月、今年・去年で比較して参考にすることができます。

1 省エネモニター画面を表示させる

49ページ

2 実績 を選ぶ

➡実績画面が表示されます。

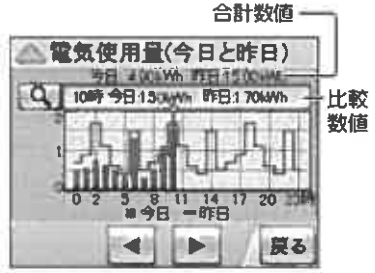
3 電気使用量 を選ぶ

- 電気使用量画面が表示されます。

4 今日と昨日 今月と先月 今年と去年 から表示単位を選ぶ

5 電気使用量を確認・比較する

- 比較対象が色分けしてグラフ表示されます。



(今日と昨日の場合)

6 詳細情報を見る場合

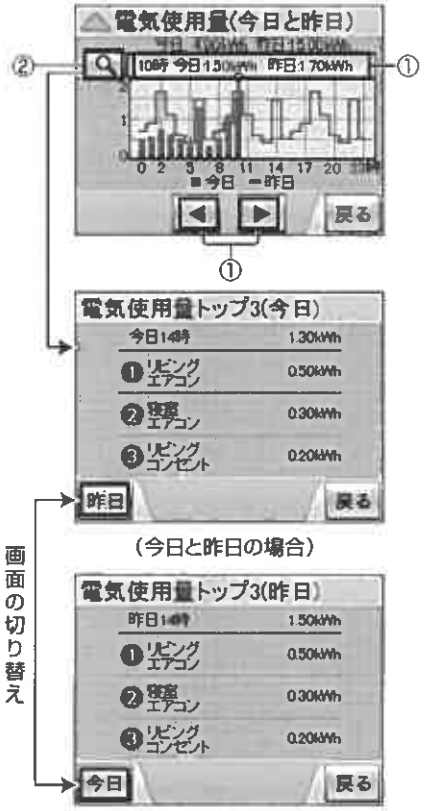
① ◀ ▶ で見たいポイント(時/日/月)を選ぶ

➡グラフの上に、選んだポイントの比較数値が表示されます。

② 🔍 を選ぶ

➡電気使用量トップ3画面が表示されます。

- 使用量の多い分岐回路のトップ3が表示されます。
  今日/昨日の画面を切り替えて参考にしてください。
- 戻る を選ぶと前画面に戻ります。



(今日と昨日の場合)

分岐回路ごとの電気使用量を確認・比較する

分岐回路ごとの電気使用量の過去実績を今日・昨日、今月・先月、今年・去年で比較して参考にすることができます。

> 注 **各分岐回路ごとの電気使用量および消費電力は簡易的な計測法（消費電力×電圧、力率＝1（固定））を採用しているため、電気機器の種類（インバータ製品など）や動作状況によって実際の使用量とは異なり、数値が大きく表示される場合があります。また、20W未満（200V機器は40W未満）は計測できず、「0W」と表示されます。（家全体の電気使用量の場合は20W未満の値も表示されます。）表示される数値はあくまで目安としてご活用ください。**

1 省エネモニター画面を表示させる

参照 49ページ

2 実績 を選ぶ

➡実績画面が表示されます。

3 電気使用量 を選ぶ

- 電気使用量画面が表示されます。

4 回路別使用量 を選ぶ

➡回路選択画面が表示されます。

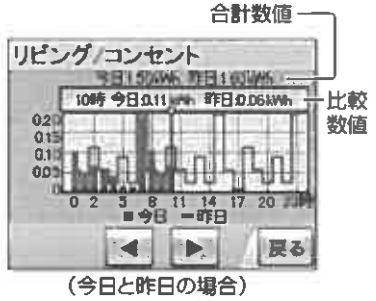
5 回路を選ぶ

- 回路表示が複数ページにわたっている場合は△、▽で切り替えてください。

6 今日と昨日 今月と先月 今年と去年 から表示単位を選ぶ

7 電気使用量を確認・比較する

- 比較対象が色分けしてグラフ表示されます。

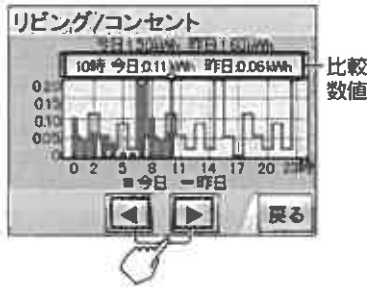


（今日と昨日の場合）

8 ◀ ▶ で見たいポイント（時/日/月）を選ぶ

➡グラフの上に、選んだポイントの比較数値が表示されます。

- 戻る を選ぶと前画面に戻ります。



ガス使用量を確認・比較する

家全体のガス使用量の過去実績を今日・昨日、今月・先月、今年・去年で比較して参考にすることができます。

1 **省エネモニター画面を表示させる**

49ページ

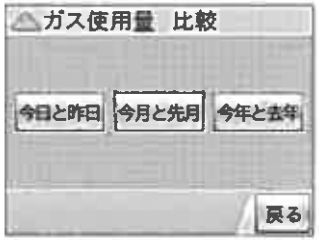
2 実績 **を選ぶ**

➡実績画面が表示されます。

3 ガス使用量 **を選ぶ**

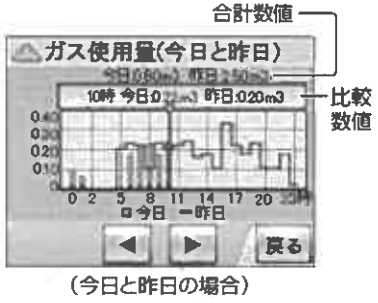
➡ガス使用量比較画面が表示されます。

4 今日と昨日 今月と先月 今年と去年 **から表示単位を選ぶ**



5 **ガス使用量を確認・比較する**

- 比較対象が色分けしてグラフ表示されます。

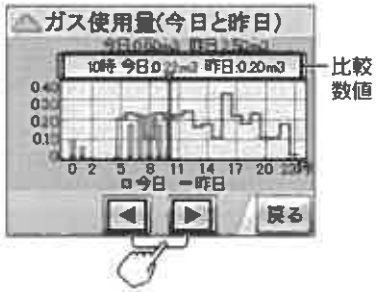


(今日と昨日の場合)

6 ◀ ▶ **で見たいポイント(時/日/月)を選ぶ**

➡グラフの上に、選んだポイントの比較数値が表示されます。

- 戻る を選ぶと前画面に戻ります。



水使用量を確認・比較する

家全体の水使用量の過去実績を今日・昨日、今月・先月、今年・去年で比較して参考にすることができます。

1 省エネモニター画面を表示させる

参照 49ページ

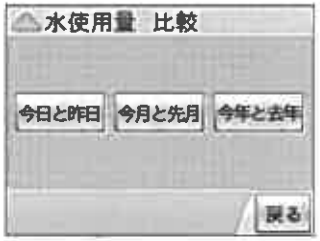
2 実績 を選ぶ

➡実績画面が表示されます。

3 水使用量 を選ぶ

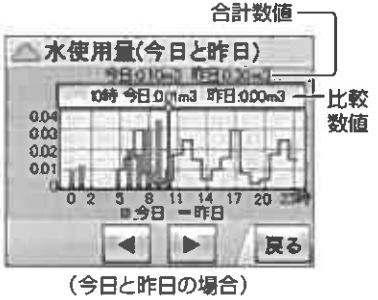
➡水使用量比較画面が表示されます。

4 今日と昨日 今月と先月 今年と去年 から表示単位を選ぶ



5 水使用量を確認・比較する

- 比較対象が色分けしてグラフ表示されます。

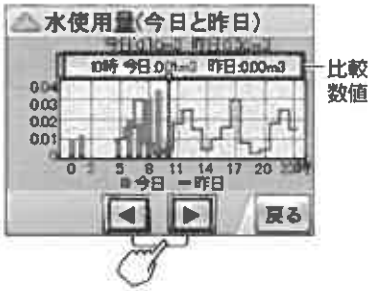


(今日と昨日の場合)

6 ◀ ▶ で見たいポイント(時/日/月)を選ぶ

➡グラフの上に、選んだポイントの比較数値が表示されます。

- 戻る を選ぶと前画面に戻ります。



太陽光発電の発電量を確認する

太陽光発電システムの発電量を今日·昨日、今月·先月、今年·去年で確認することができます。過去の総計も確認できます。

1 **省エネモニター画面を表示させる**

49ページ

2 **実績** **を選ぶ**

➡実績画面が表示されます。

3 **太陽光発電** **を選ぶ**

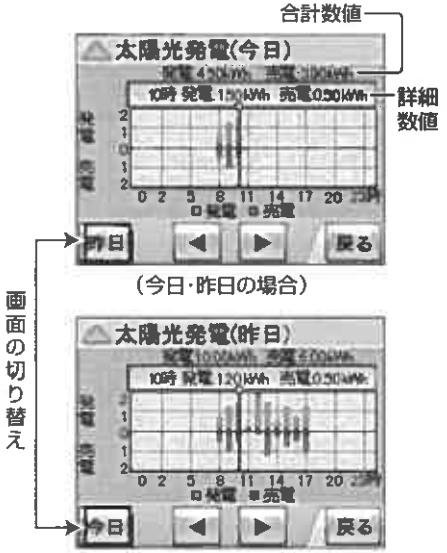
➡太陽光発電画面が表示されます。

4 **今日·昨日** **今月·先月** **今年·去年** **から表示単位を選ぶ**

- **総計** を選ぶと過去のトータルの実績が表示されます。

5 **太陽光発電の発電量を確認する**

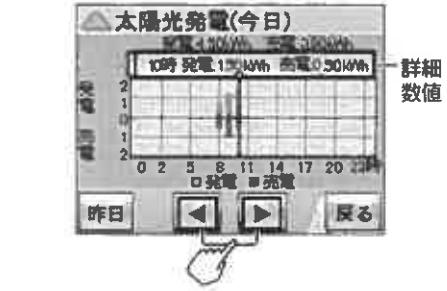
- 発電·売電が色分けしてグラフ表示されます。



6 **◀ ▶ で見たいポイント(時/日/月)を選ぶ**

➡グラフの上に、選んだポイントの数値が表示されます。

- **戻る** を選ぶと前画面に戻ります。



燃料電池やガス発電の発電量を確認する

燃料電池（エネファーム）やガス発電（エコウィル）の発電量を今日・昨日、今月・先月、今年・去年で確認することができます。

1 省エネモニター画面を表示させる

49ページ

2 実績 を選ぶ

➡実績画面が表示されます。

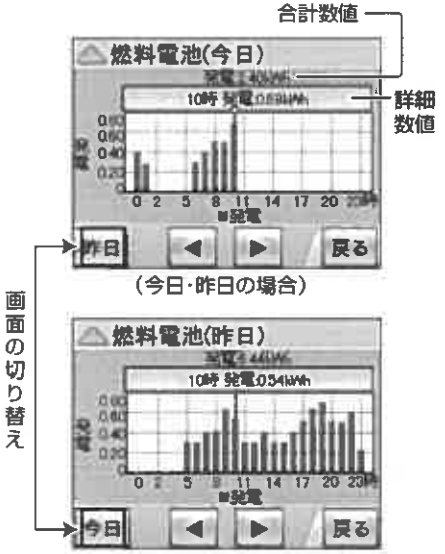
3 燃料電池 を選ぶ

➡燃料電池画面が表示されます。

- ガス発電の場合は ガス発電 と表示されたボタンを選んでください。

4 今日・昨日 今月・先月 今年・去年 から表示単位を選ぶ

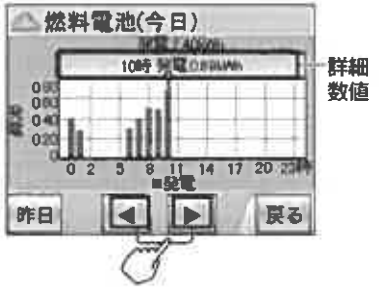
5 燃料電池の発電量を確認する



6 ◀▶ で見たいポイント（時/日/月）を選ぶ

➡グラフの上に、選んだポイントの数値が表示されます。

- 戻る を選ぶと前画面に戻ります。



電力収支を確認する

家庭内の消費電力と売電力の収支の過去実績を今日・昨日、今月・先月、今年・去年で確認することができます。

1 省エネモニター画面を表示させる

参照 49ページ

2 実績 を選ぶ

➡実績画面が表示されます。

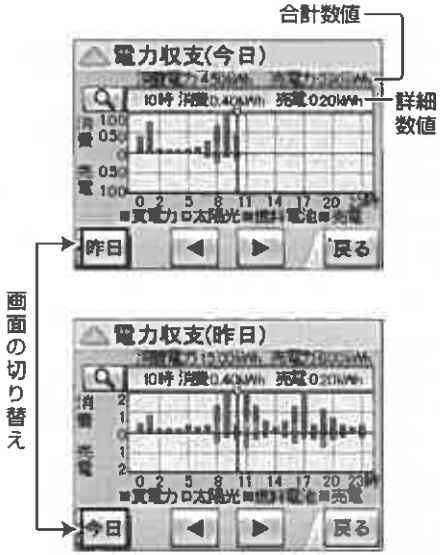
3 電力収支 を選ぶ

➡電力収支画面が表示されます。

4 今日・昨日 今月・先月 今年・去年 から表示単位を選ぶ

5 電力収支を確認する

- 消費、売電が色分けしてグラフ表示されます。



6 詳細情報を見る場合

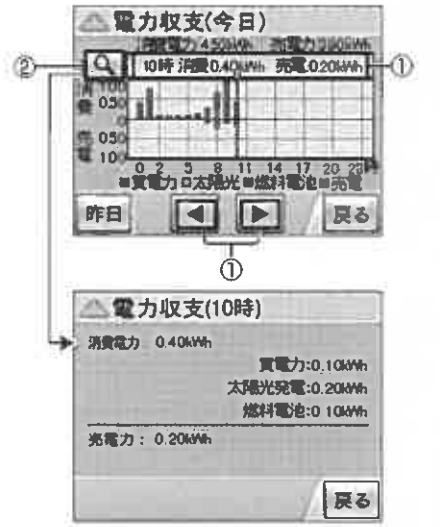
①◀▶で見たいポイント（時/日/月）を選ぶ

➡グラフの上に、選んだポイントの数値が表示されます。

② 🔍 を選ぶ

➡詳細画面が表示されます。

- 戻る を選ぶと前画面に戻ります。



料金に換算して確認・比較する

家全体のエネルギー消費を料金に換算して今日・昨日、今月・先月で比較して参考にすることができます。

注 料金は料金表示設定（87ページ）で入力した数値を元にしたものであり、目安です。

1 省エネモニター画面を表示させる

49ページ

2 実績 を選ぶ

➡実績画面が表示されます。

3 料金換算 を選ぶ

➡料金換算（目安）画面が表示されます。

4 料金を確認・比較する

- 今日と昨日 、 今月と先月 を選んで比較対象を選びます。
- 戻る を選ぶと前画面に戻ります。
- 「料金単価未設定」と表示された場合は、料金表示設定（87ページ）を行ってください。

過去実績のデータをダウンロードする

エネルギーモニター用ユニットに保存されている計測データを、パソコンのブラウザからダウンロードすることができます。

注
- エネルギーモニターや「アクトビラ」対応デジタルテレビでダウンロードすることはできません。
- 計測データの保存期間には制限があります。122ページ
- 複数台のパソコンから同時にデータをダウンロードしようとすると、正常にダウンロードできない場合があります。

1 パソコンのブラウザでメニュー画面を表示させる

30ページ

2 エコ を選び省エネモニター画面で 実績 を選ぶ

➡実績画面が表示されます。

3 データダウンロード を選ぶ

➡データダウンロード画面が表示されます。

4 集計単位を選んで ダウンロード を選ぶ

5 画面の指示にしたがいデータをダウンロードする

メモ
- ダウンロードしたデータはCSVファイルで保存され、データベースソフトで見ることができます。
- 集計単位（時間/日/月/年）によりそれぞれ1時間ごと/1日ごと/1カ月ごと/1年ごとの電力量（主幹と回路別、単位はWh）、ガス使用量（単位はリットル※）、水道使用量（単位はリットル※）、発電設備がある場合は発電量（単位はWh）を表示します。（※1000リットル=1m³）
- 主幹のマイナス値は売電力量、発電設備のマイナス値は発電を表します。
- 「有効性」は"0"は正常、"9"はデータ異常を表します。

「ECHONET Lite」対応エアコンを操作する

ネットワークに接続された「ECHONET Lite」対応エアコンを操作することができます。

注 「ECHONET Lite」に対応していないエアコンは操作できません。（エアコン制御は表示されません。）

1 エネルギーモニター画面を表示させる

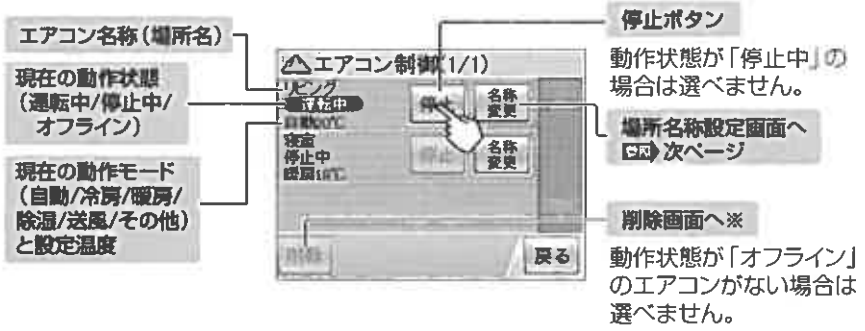
45ページ

2 エアコン制御を選ぶ

➡エアコン制御画面が表示されます。

3 操作したいエアコンの停止を選ぶ

- 運転中のエアコンを停止させることができます。



※削除を選ぶとエアコン削除画面が表示され、「オフライン」状態の「ECHONET Lite」対応エアコンを画面上から削除することができます。削除したいエアコンの削除を選んで表示される確認画面ではいを選んでください。

注 「オフライン」状態でないエアコンは削除できません。削除したいエアコンのLAN用コードを抜いてオフラインにしてください。

エアコンの名称（場所名）を変更する

エアコン制御画面に表示される「ECHONET Lite」対応エアコンの名称（場所名）を、ご自身のわかりやすい名称に変更することができます。

1 エアコン制御画面で名称変更を選ぶ

74ページ

➡場所名称設定画面が表示されます。

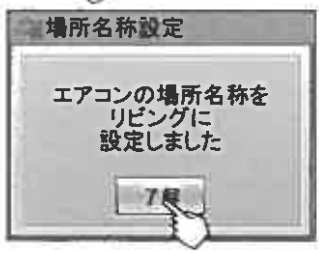
2 名称を選んで登録を選ぶ

- △、▽で選択画面を切り替えてください。

3 了解を選ぶ

➡手順**1**の画面が表示されます。

- 他のエアコンの名称も変更する場合は手順**1**～**3**をくり返してください。



「アクトビラ対応デジタルテレビやパソコンのブラウザの場合」

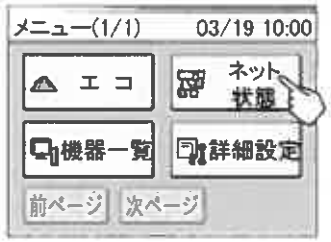
手順**2**の場所名称設定画面でその他を選ぶと全角8文字までのお好きな名称を設定することができます。

ネットワークの状態を確認する

エネルギーモニター用ユニットの各ポートのネットワーク状態を表示します。エネルギーモニターにメッセージが出たりシステム動作が不安定になった場合に確認してください。

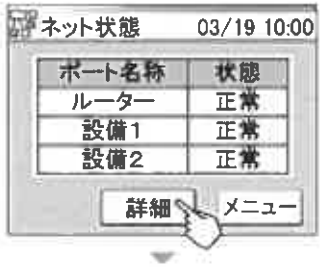
1 **メニュー画面を表示させる**
参照 27ページ

2 **ネット状態**を選ぶ
➡ネット状態画面が表示されます。

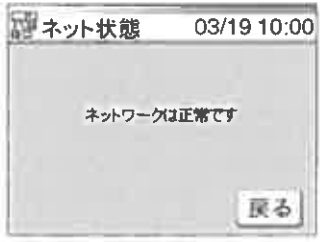


3 **各ポートのネット状態を確認する**

正　常	正常動作中
遮　断	ポートを遮断中
異　常	制御、遮断が行えないが異常な通信がある



4 状態を詳しく知りたい場合、**詳細**を選ぶ
➡詳細画面が表示されます。



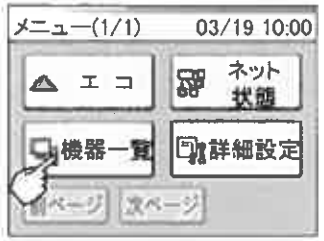
5 **戻る**を選ぶ
➡ネット状態画面に戻ります。

宅内に接続されている機器を調べる

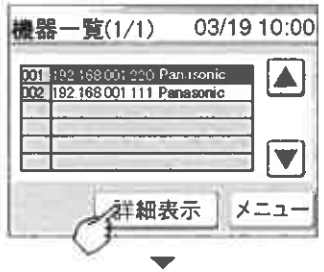
エネルギーモニター用ユニットに接続されている機器を一覧表示させて、情報を確認します。

1 **メニュー画面を表示させる**
参照 27ページ

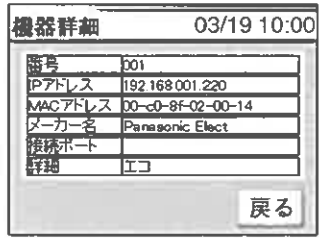
2 **機器一覧**を選ぶ
➡機器一覧画面が表示されます。



3 **機器情報を確認する**
- 24時間以内に通信が行われた機器のIPアドレス、メーカー名が表示されます。▲▼で画面をスクロールして確認してください。
- 番号はエネルギーモニター用ユニットが機器を検出した順に割り当てられます。
- 設備ポートに接続されている機器の番号は、背景が黄色で表示されます。
- 接続位置を変更した場合、通信が行われるまで変更は反映されません。



4 **詳細を確認したい機器をスクロールして選び、詳細表示を選ぶ**
➡詳細情報が表示されます。
- 接続ポートの名称はエネルギーモニター用ユニットのポートの名称です。機器が取りはずされた場合など5分以上通信が行われなかった場合は、「未接続」と表示されます。(エネルギーモニター用ユニットの接続ポートは空欄表示されます。)



5 **戻る**を選ぶ
➡機器一覧画面に戻ります。

メモ
- 機器によっては表示されない情報があります。
- パソコンなどでは、パソコン自体のメーカー名ではなく装着されたネットワークカードのメーカー名が表示される場合があります。

お知らせ画面について（エネルギーモニターのみ）

エネルギーモニター用ユニットでお知らせ用件が発生した場合、お知らせ音（"ポロロン"）とともに以下のようなメッセージがエネルギーモニターに表示されます。内容を確認して[了解]を選び、適切な処置を行ってください。

注 エネルギーモニターに何らかの画面が表示されているときは、お知らせ用件が発生してもお知らせ画面は表示されません。この場合、エネルギーモニターのお知らせLEDが点滅してお知らせ用件が履歴に保存されます。参照 エネルギーモニターの取扱説明書

メッセージ	症 状	処 置
	家全体（主幹回路）で電気を使いすぎて停電する可能性があります。 • 報知する/しないを設定することができます。参照 86ページ	エアコンなど消費電力の大きい電気機器の電源を切ってください。
	分岐回路で電気を使いすぎて分岐ブレーカーが落ちる可能性があります。 • 報知する/しないを設定することができます。参照 86ページ	画面に表示された分岐回路の電気機器の使用を中止してください。
	省エネ目標設定（参照 81ページ）で設定した一日の電気使用量の目標値に対する、報知時刻までの達成状況を知らせます。 • 報知する/しないを設定することができます。参照 86ページ	――――
	ECOマネシステム対応住宅分電盤と通信ができない状態です。 • エネルギーモニター画面や省エネモニター画面などは表示できません。	施工店にご連絡ください。

メッセージ	症 状	処 置
	パルス発信器付ガスメーターからの信号が異常です。	施工店にご連絡ください。

メモ
- 「電気を使いすぎています」画面は、電子レンジや炊飯器などの機器を一度に多く使い、ブレーカーの定格電流に対する通電電流値が規定の値を超えた場合（過電流）にお知らせ音とともに表示されます。（下表参照）また、ECOマネシステム対応住宅分電盤でもブザー（主幹回路は"ピー"、分岐回路は"ピピー"）とLEDでお知らせします。詳しくはECOマネシステム対応住宅分電盤の取扱説明書をご参照ください。
- 電気を使いすぎている状態が続くと、定期的にお知らせ画面が表示されます。また、過電流の割合が高くなるとお知らせ画面の表示間隔が短くなります。（下表参照）

定格に対する過電流の割合	家全体（主幹回路）		分岐回路
	リミッタあり	リミッタなし	
90%以下	お知らせなし	お知らせなし	お知らせなし
90%～100%	お知らせなし	3分間隔	3分間隔
100%～110%	3分間隔	30秒間隔	15秒間隔
110%超	30秒間隔	30秒間隔	15秒間隔

詳細設定編

必要なときにお読みください。

エネルギーモニター用ユニットについての設定（エコ設定）、システム全体についての設定（詳細設定）を行います。

注 • エネルギーモニター（別売）による操作画面で説明しています。「アクトビラ」対応デジタルテレビやパソコンのブラウザで操作することもできます。
参照 29～31ページ

• システムに接続されている機器の種類や台数によって、操作画面は異なります。

省エネ目標値を設定する

過去の実績から、あるいは目標値を直接入力することにより、省エネ目標値を設定します。この設定値に基づき、省エネモニター画面は省エネ状況を判断します。

1 省エネモニター画面を表示させる
参照 49ページ

2 エコ設定 を選ぶ
➡ エコ設定画面が表示されます。

3 省エネ目標設定 を選ぶ
➡ 省エネ目標設定画面が表示されます。

4 設定対象（電気/ガス/水）の 変更 を選ぶ
• 目標値表示 を選ぶと現在のそれぞれの目標値が表示されます。

5 設定方法を選ぶ

過去の実績を自動設定
先月あるいは前年同月の実績から目標値を決める

省エネ目標値設定
目標値を直接数値入力する

（電気の場合）

次ページへ続く

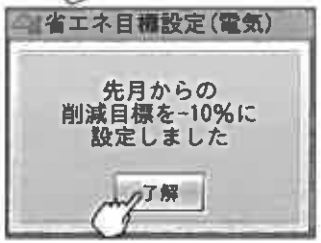
6 それぞれを設定する

過去の実績を自動設定する場合

①比較する実績対象（前年同月または先月）を選んで［確定］を選ぶ

②削減目標を選んで［登録］を選ぶ
➡確認画面が表示されます。

③［了解］を選ぶ
➡省エネ目標設定画面に戻ります。



目標値を直接数値入力する場合

①目標値を入力して［登録］を選ぶ
- ［クリア］を選ぶと、入力した数値が消去されます。

（電気の場合）

②［了解］を選ぶ
➡省エネ目標設定画面に戻ります。

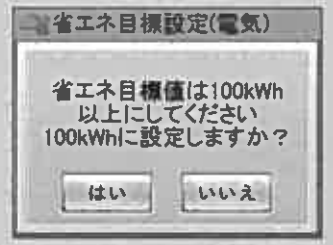
7 手順4～6をくり返す

- ［戻る］を選ぶと前画面に戻ります。

メモ

- 設定できる最低値は、電気が100kWh、ガスが1m³、水が1m³です。それ以下となる数値に設定しようとすると右のような画面が表示されます。最低値に設定する場合は［はい］を選んでください。
  ［いいえ］を選ぶと前画面に戻ります。

〈電気の場合〉



- はじめてご使用になる場合は、過去の実績（計測データ）がありませんので、［省エネ目標値設定］を選んでください。その際、各エネルギー供給会社からの使用量についてのお知らせなどを参考にして目標値を直接入力してください。
- ［過去の実績を自動設定］を選んで、過去の実績がない、あるいは過去の実績から削減目標を引いた数値が最低値未満の場合は、目標値は最低値に設定されます。

気になる回路を設定する

エネルギーモニター画面で「電気使用量確認」を選んで気になる回路に表示される分岐回路と、その分岐回路の電気使用状態を確認する際に、電気使用状態の判定の基準となる消費電力値を設定します。

注 まずはじめに、最小の消費電力を知り判定値を設定するために、気になる回路に接続されている機器の電源を切るか、接続機器を待機状態にしてください。

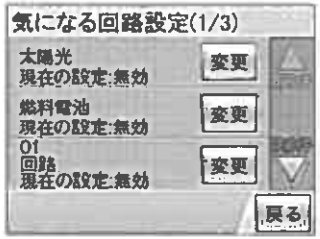
1 エコ設定画面で 気になる回路設定 を選ぶ

参照 81ページ

➡気になる回路設定画面が表示されます。

2 「気になる回路」に設定したい分岐回路の 変更 を選ぶ

- 表示が複数ページにわたっている場合は△、▽で切り替えてください。



3 する を選んで 登録 を選ぶ

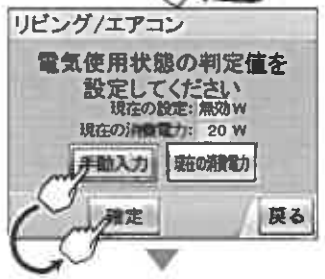
- する を選ぶとその回路が電気使用量確認の「気になる回路」に表示されます。参照 48ページ
- しない を選んで 登録 を選ぶと、「気になる回路」に表示されなくなります。

4 現在の消費電力を判定値にする場合

現在の消費電力 を選んで 確定 を選ぶ

手動で数値を入力する場合

① 手動入力 を選んで 確定 を選ぶ



② テンキーで数値を入力して 登録 を選ぶ

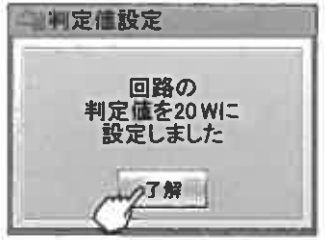
- クリア を選ぶと、入力した数値が消去されます。

注 20W未満は設定できません。20W未満を入力して登録しようとした場合は、20Wに設定するかどうかの確認画面が表示されます。

（回路電圧（参照 41ページ）が200Vに設定されている場合は、40W未満は設定できません。）

5 入力値を確認して 了解 を選ぶ

➡気になる回路設定画面が表示されます。



6 各回路について、手順2～5をくり返す

報知設定をする

エネルギーモニター用ユニットには電気を使いすぎている場合にエネルギーモニターでお知らせする機能（過電流報知 78ページ）、1日の電気使用量の目標達成状況をお知らせする機能（目標達成報知 78ページ）がありますが、これらの報知のする/しないを設定することができます。

1 エコ設定画面で 報知設定 を選ぶ

81ページ

➡報知設定画面が表示されます。

2 それぞれについて する しない を選んで 登録 を選ぶ

- 目標達成報知の報知時刻を変更したい場合は、報知時刻の 変更 を選んで時刻を入力してください。

3 了解 を選ぶ

➡エコ設定画面が表示されます。

メモ
- 「過電流報知」の工場出荷時の設定は「する」になっています。
- 「目標達成報知」とは、省エネ目標設定（81ページ）で設定した一日*の電気使用量の目標値に対する、報知時刻までの達成状況をエネルギーモニターでお知らせする機能です。（※00:00から報知時刻まで）
- 工場出荷時の目標達成報知設定は「する」、報知時刻は16:00になっています。
- 報知する画面については78ページを参照してください。

料金単価を設定する

各画面に表示されるエネルギー使用量を料金で表示することができます。
料金単価は各エネルギー供給会社や水道局などにお問い合わせください。

注
- 初期状態では料金は設定されていません。料金で表示する場合は以下の設定を行ってください。
- 表示できるのは料金の概算であり、実際の料金とは異なります。また、表示には基本料金は含まれません。

1 エコ設定画面で 料金表示設定 を選ぶ

81ページ

➡料金表示設定画面が表示されます。

2 設定対象の 変更 を選ぶ

➡それぞれの設定画面が表示されます。

売電力 92ページ
ガス 93ページ
水（水道）94ページ

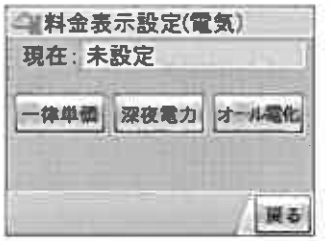
電気の場合

1 表示設定方法を選ぶ

一律単価 （次ページ）
時間帯に関係なく一律の単価を設定する

深夜電力 （次ページ）
昼と夜の単価を別々に設定する

オール電化 （90ページ）
オール電化の場合、朝晩、昼、夜の単価を別々に設定する



次ページへ続く

2 それぞれを設定する

一律単価の場合

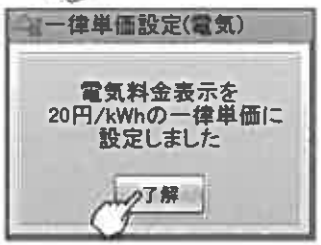
①手順1で 一律単価 を選ぶ

②電気料金の単価（1kWhの値段）を入力して 登録 を選ぶ

- クリア を選ぶと、入力した数値が消去されます。

③ 了解 を選ぶ

➡料金表示設定画面が表示されます。

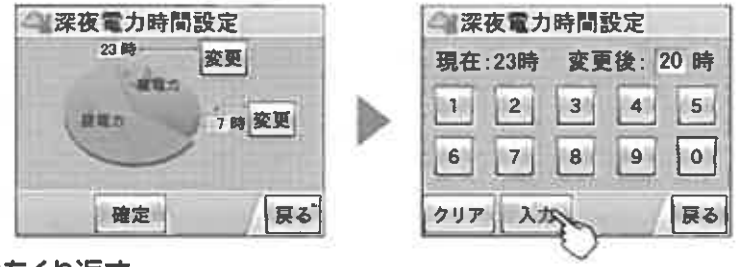


深夜電力の場合

①手順1で 深夜電力 を選ぶ

②時間変更 を選ぶ

③設定する時間帯の 変更 を選び、時間を入力して 入力 を選ぶ

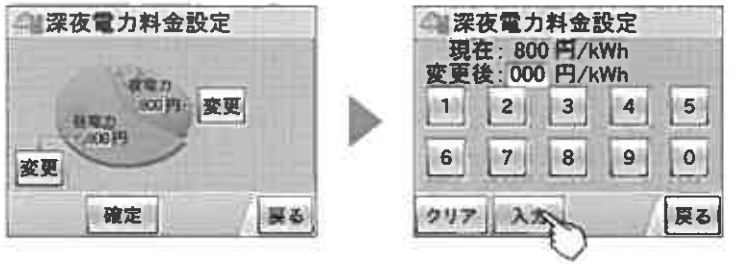


④③をくり返す

⑤深夜電力時間設定画面で 確定 を選ぶ

⑥ 料金変更 を選ぶ

⑦設定する時間帯の 変更 を選び、電気料金の単価を入力して 入力 を選ぶ



⑧⑦をくり返す

⑨深夜電力料金設定画面で 確定 を選ぶ

⑩ 登録 を選ぶ

⑪ 了解 を選ぶ

➡料金表示設定画面が表示されます。

料金単価を設定する

オール電化の場合

①手順1で［オール電化］を選ぶ

②［時間変更］を選ぶ

③設定する時間帯の［変更］を選び、時間を入力して［入力］を選ぶ

④③をくり返す

⑤オール電化時間設定画面で［確定］を選ぶ

⑥［料金変更］を選ぶ

⑦設定する時間帯の［変更］を選び、電気料金の単価を入力して［入力］を選ぶ

⑧⑦をくり返す

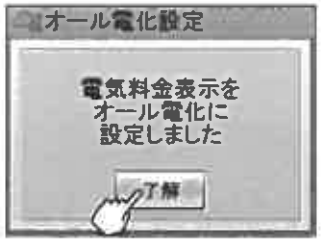
- 電力会社と土日料金を契約している場合は、土日料金設定の［変更］を選んで［する］→［登録］を選んでください。

⑨オール電化料金設定画面で［確定］を選ぶ

⑩［登録］を選ぶ

⑪［了解］を選ぶ

➡料金表示設定画面が表示されます。



メモ
- 土日料金設定を「する」に設定しても、本製品では祝日は平日として扱います。
- 季節など状況によって電気料金単価が変化する場合があります。ご契約の電力会社にお問い合わせください。

次ページへ続く

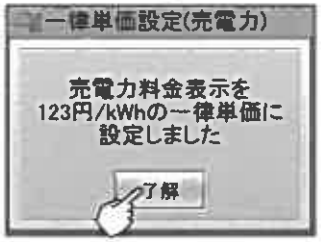
売電力の場合

1 売電力料金の単価（1kWhの値段）を入力して［登録］を選ぶ

- ［クリア］を選ぶと、入力した数値が消去されます。

2 ［了解］を選ぶ

➡料金表示設定画面が表示されます。



メモ
- 季節など状況によって売電力料金単価が変化する場合があります。ご契約の電力会社にお問い合わせください。

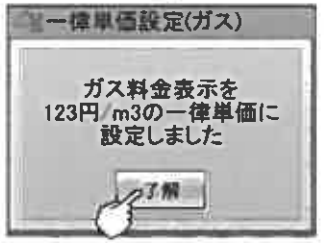
ガスの場合

1 ガス料金の単価（1m³の値段）を入力して［登録］を選ぶ

- ［クリア］を選ぶと、入力した数値が消去されます。

2 ［了解］を選ぶ

➡料金表示設定画面が表示されます。



メモ
- 季節など状況によってガス料金単価が変化する場合があります。ご契約のガス会社にお問い合わせください。

次ページへ続く

料金単価を設定する

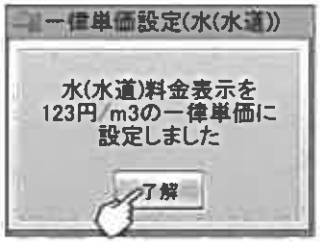
水（水道）の場合

1 水（水道）料金の単価（1m³の値段）を入力して［登録］を選ぶ

- ［クリア］を選ぶと、入力した数値が消去されます。

2 ［了解］を選ぶ

➡料金表示設定画面が表示されます。



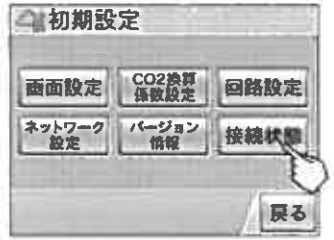
メモ
- 季節など状況によって水道料金単価が変化する場合があります。ご契約の水道局にお問い合わせください。

他の機器との接続状態を確認する

エネルギーモニター用ユニットとシステム内の各機器との接続状態が正常か確認することができます。また、計測データを消去することもできます。

1 エコ設定画面で［初期設定］を選ぶ 参照 81ページ

➡初期設定画面が表示されます。



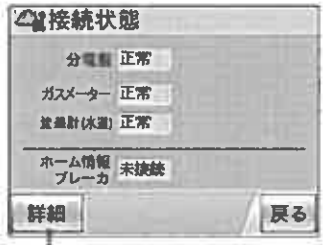
2 ［接続状態］を選ぶ

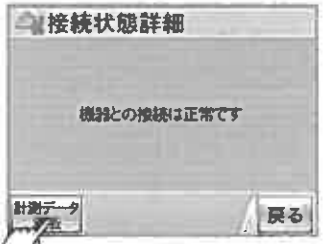
➡接続状態画面が表示されます。

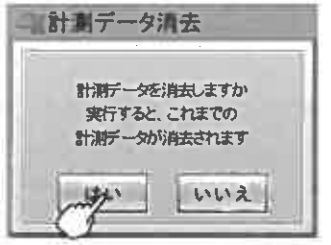
3 接続状態を確認する

- 分電盤が「異常」の場合は、施工店にご連絡ください。
- ガスメーター、流量計（水道）が接続されていない場合は「未接続」と表示されます。「異常」の場合は、施工店にご連絡ください。
- くらし安心ホームパネルSを設置している場合は、ホーム情報ブレーカは「接続」と表示されます。
- ［戻る］を選ぶと、初期設定画面が表示されます。
- ［詳細］を選ぶと、接続状態詳細画面が表示されます。
- 接続状態詳細画面で［計測データ消去］を選ぶと、計測データ消去画面が表示されます。［はい］を選ぶと「消去中」が表示されて計測データが消去され、消去が完了すると自動的に再起動されます。（［いいえ］を選ぶと接続状態詳細画面に戻ります。）

注 消去を行うと、過去の計測データがすべて消去されます。（回路設定などの設定内容は消去されません。）







詳細設定項目の選びかた

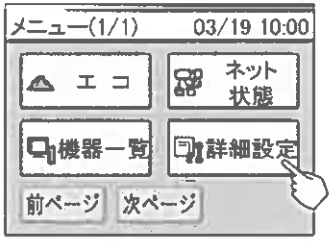
システム全体のさまざまな詳細設定を行うための項目を選びます。

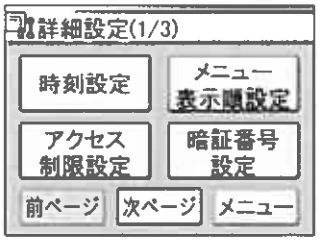
1 メニュー画面を表示させる
参照 27ページ

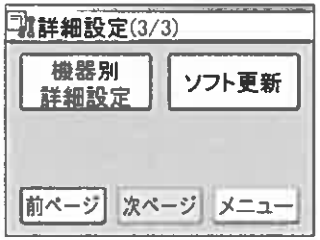
2 詳細設定を選ぶ
➡詳細設定(1/3)画面が表示されます。

3 設定項目を選ぶ
➡それぞれの設定画面が表示されます。
- 詳細設定画面は3ページにわたっています。次ページ 前ページ で切り替えてください。

注 カメラ初期登録 は使用しません。







メニューの表示順を変える

メニュー画面のボタンの並び順を、使いやすいよう変更します。よく使うボタンは1ページ目に配置すると便利です。

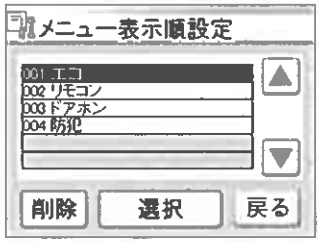
1 設定項目の選択画面で メニュー表示順設定 を選ぶ
参照 96ページ
➡メニュー表示順設定画面が表示されます。

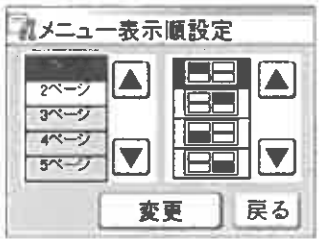
2 ▲▼でスクロールして表示順を変えたいメニューを選び、選択 を選ぶ
➡並べ替え画面が表示されます。

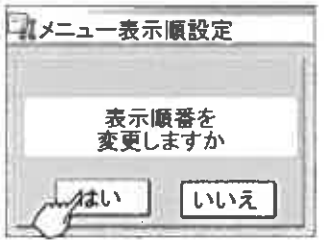
3 左側▲▼でスクロールして配置ページ、右側▲▼でスクロールして配置位置を決める

4 変更 を選ぶ
➡確認画面が表示されます。

5 はい を選ぶ
- いいえ を選ぶと並べ替え画面に戻ります。
- ほかのメニューの表示順も変更する場合、手順 **2**～**5** をくり返してください。







■不要なメニューボタンを削除するには

手順 **2** でメニューを選んで 削除 を選び、確認画面で はい を選ぶことにより画面からボタンが削除されます。

注 そのメニューが動作中は削除できません。

アクセスの制限を設定する

宅内LANに接続されたパソコンや「アクトビラ」対応テレビなどの端末からシステム内の各設備機器へのアクセスを、端末ごとに制限します。

- 初期状態では「制限しない」になっています。

1 設定項目の選択画面で［アクセス制限設定］を選ぶ

参照 96ページ

2 暗証番号を入力して［入力］を選ぶ

- 暗証番号について 参照 34ページ
- ［クリア］を選ぶと入力した数値が消去されます。

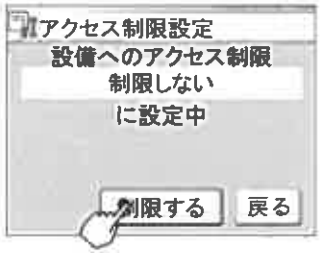
➡アクセス制限設定画面が表示されます。

3 ［制限する］を選ぶ

➡確認画面が表示されます。

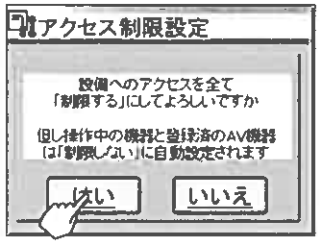
- すでに一部の端末を「制限する」に設定している場合、［詳細］を選んで手順**6**に進んでください。

（すべての端末を「制限しない」に設定している場合）



4 ［はい］を選ぶ

➡暗証番号入力画面が表示されます。



5 手順**2**と同様に暗証番号を入力して［入力］を選ぶ

6 ▲▼でスクロールしてアクセスを制限にしたい端末を選び、［選択］を選ぶ

➡詳細情報が表示されます。

001 | 192.168.254.120 | Panasonic | ○
（IPアドレス／メーカー名）
アクセス制限状況（○:制限しない/×:制限中）

7 詳細を確認し［制限する］を選ぶ

➡確認画面が表示されます。

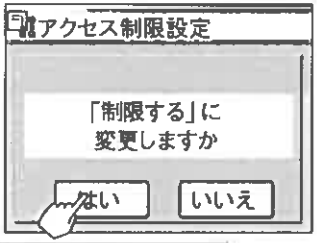
- すでに「制限する」に設定している端末を選択した場合は［制限しない］を選んで「制限しない」に設定できます。

8 ［はい］を選ぶ

9 手順**2**と同様に暗証番号を入力して［入力］を選ぶ

- ほかの端末も設定する場合、手順**6**～**9**をくり返してください。

➡設備機器へのアクセスが「制限する」に設定されます。



すべての端末からのアクセスを「制限しない」に戻すには

手順**3**で ①［制限しない］を選ぶ
②［はい］を選ぶ
③手順**2**と同様に暗証番号を入力して［入力］を選ぶ

メモ
- 設備機器、設定を行っている端末およびルーターは「制限する」に設定できません。

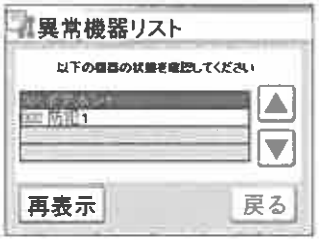
使えない機器を調べる

現在使えない機器を一覧表示します。

1 設定項目の選択画面で 異常機器リスト を選ぶ

96ページ

➡異常機器リスト画面が表示されます。



2 使えない機器を確認する

- 現在エネルギーモニター用ユニットと通信できない機器が表示されます。5システム以上の場合は、▲▼で画面をスクロールして確認してください。
- 再表示 を選ぶと、使えない機器を再度調べて表示します。
- 使えない機器（異常機器）がない場合は、「異常機器は存在しません」と表示されます。

メモ
- 不要なメニューボタンを削除することにより、使えない機器を異常機器リストから削除できます。97ページ

ルーターを交換・変更する

DHCPモードでお使いのルーターを異なるルーターに交換・変更する場合は、接続後に以下の操作が必要です。画面で設定する、あるいはエネルギーモニター用ユニットのリセットボタンで設定する2つの方法があります。

1 設定項目の選択画面で ルータ設置設定 を選ぶ

96ページ

➡ルータ設置設定画面が表示されます。

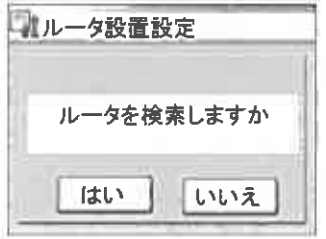
2 ルータを検索 を選ぶ

➡確認画面が表示されます。

3 はい を選ぶ

➡DHCPモードに設定されます。

- 再度1の画面を表示するとルーターが検出できたかどうかを確認できます。



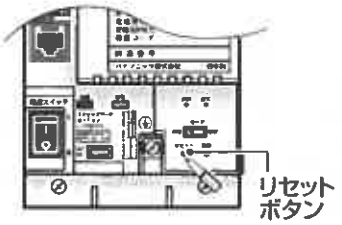
エネルギーモニター用ユニットの「リセット」ボタンによる操作

1 エネルギーモニター用ユニットのカバーをはずす

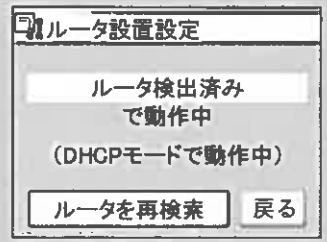
9ページ

2 エネルギーモニター用ユニットの「リセット」ボタンを、ボールペンなど先の細い物で約1秒押す

➡DHCPモードになり、接続された各機器のIPアドレスの自動取得を始めます。



メモ
- DHCPモードになるまでに数分かかる場合があります。この間システムの動作が不安定になりますのでご注意ください(操作画面では動作しないボタンはグレー表示されて作動しません)。
- 詳細画面で設定する場合、すでにDHCPモードでシステムが動作している場合は、右のような画面が表示されます。再設定する場合、ルーターを再検索 を選んでください。



ドアホン・センサーカメラ対応ビエラの登録を確認する

登録されているドアホン・センサーカメラ対応ビエラを一覧表示します。

1 設定項目の選択画面で
AV機器設定 を選ぶ
参照 96ページ

2 登録機器一覧 を選ぶ
➡登録したドアホン・センサーカメラ対応機器一覧画面が表示されます。

3 ▼▲でスクロールして、
ドアホン・センサーカメラ対応ビエラが登録されているか、利用可能かを確認する

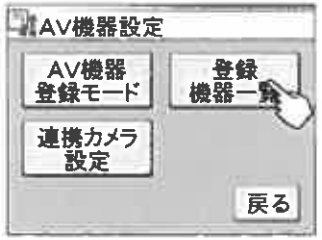
メモ
- 登録完了して連携中の機器は「○」、連携中でない機器は「×」で表示されます。
- 登録していても、ドアホン・センサーカメラ対応ビエラの電源が入っていない場合は「×」が表示されます。

ドアホン・センサーカメラ対応ビエラの登録を削除する

登録されているドアホン・センサーカメラ対応ビエラを削除します。

注 設定画面をビエラで表示している場合、現在この操作をしているビエラ自体は削除できません。別の機器で削除してください。

1 設定項目の選択画面で
AV機器設定 を選ぶ
参照 96ページ

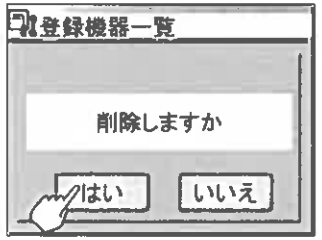


2 登録機器一覧 を選ぶ
➡登録したドアホン・センサーカメラ対応機器一覧画面が表示されます。

3 ▼▲でスクロールして、
削除する登録機器を選択する

4 削除 を選ぶ
➡確認画面が表示されます。

5 はい を選ぶ
➡暗証番号入力画面が表示されます。
- 暗証番号を入力して 入力 を選んでください。
- 暗証番号について 参照 34ページ



機器別に詳細設定する

システム内の各機器を一覧表示し、それぞれの詳細設定画面にジャンプします。

1 設定項目の選択画面で「機器別詳細設定」を選ぶ

参照 96ページ

➡機器別詳細設定画面が表示されます。

2 ▲▼でスクロールして詳細設定する機器を選び、「選択」を選ぶ

➡選んだ機器の詳細設定画面が表示されます。

3 エコ設定画面で「初期設定」を選ぶ

➡初期設定画面が表示されます。

〈例:エネルギーモニター用ユニット〉

4 詳細設定する項目を選ぶ

〈例:エネルギーモニター用ユニット〉

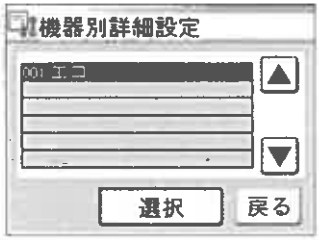
バージョン情報・MACアドレスを確認する

ソフトウェアのバージョンとMACアドレスを表示します。

1 設定項目の選択画面で「機器別詳細設定」を選ぶ

参照 96ページ

➡機器別詳細設定画面が表示されます。



2 ▲▼でスクロールして「エコ」を選び、「選択」を選ぶ

3 エコ設定画面で「初期設定」を選ぶ

➡初期設定画面が表示されます。

4 「バージョン情報」を選ぶ

5 バージョンとMACアドレスを確認する

- 「戻る」を選ぶと、初期設定画面に戻ります。

ネットワーク設定を変える

ブロードバンドルーターやルーター機能付ADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPによるIPアドレスの自動取得が使えます。ルーター設置後に、エネルギーモニター用ユニットのリセットボタンを押すだけでネットワーク設定は完了しますので、以下の設定は通常の場合、必要ありません。

- ネットワークを独自設定したい方のみ、以下の機能をお使いください。

注
- エネルギーモニター用ユニットのネットワーク設定を変える前に、必ずサブシステムの設備機器のネットワーク設定を変えてください。
- ネットワーク設定の変更後は、「アクトビラ」対応テレビやパソコンのネットワーク設定の変更と操作画面のURLアドレスの再設定が必要です。

DHCP使用→固定IPアドレスに変更する場合

1 エネルギーモニター用ユニットの機器別詳細設定項目の選択画面で［ネットワーク設定］を選ぶ

参照 105ページ

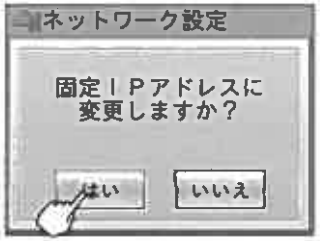
➡ネットワーク設定画面が表示されます。

2 ［固定IP］を選ぶ

➡確認画面が表示されます。

3 ［はい］を選ぶ

- ［いいえ］を選ぶと設定がキャンセルされ前画面に戻ります。

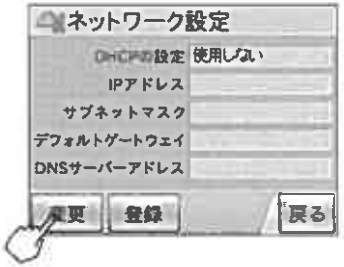


4 ［変更］を選ぶ

➡IPアドレス、サブネットマスクなどの選択画面になります。

- 画面にしたがって各項目を独自設定してから右画面に戻り、［登録］を選んでください。

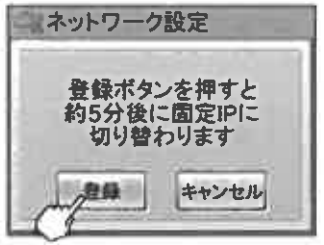
➡確認画面が表示されます。



5 ［登録］を選ぶ

➡入力内容が有効となります。

- ［キャンセル］を選ぶと前画面に戻ります。



固定IPアドレス→DHCP使用に変更する場合

1 エネルギーモニター用ユニットの機器別詳細設定項目の選択画面で［ネットワーク設定］を選ぶ

参照 105ページ

➡ネットワーク設定画面が表示されます。

2 ［DHCP］を選ぶ

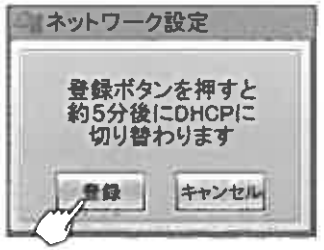
➡確認画面が表示されます。

3 ［登録］を選ぶ

➡DHCPによるIP自動取得が行われ、約5分後に切り替わります。

- ［キャンセル］を選ぶと前画面に戻ります。

注 IPアドレスが変わりますので、「アクトビラ」対応テレビやパソコンの操作画面のURLを再設定する必要があります。参照 29～31ページ



メモ
- IPアドレスとは、インターネットに接続する機器を特定する番号です。
- DHCPとは、サーバーやルーターがIPアドレスを自動的に割り当てる仕組みのことです。

ソフトウェアをアップデートする

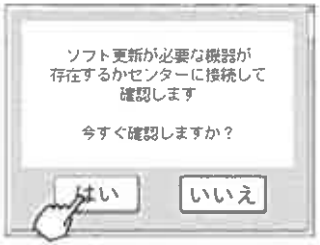
センターサーバーにアクセスして、エネルギーモニター用ユニットのソフトウェアのアップデート（更新）を行います。

注 この操作を行うにはADSLやCATV、FTTHなどのインターネット常時接続環境が必要です。

1 設定項目の選択画面で［ソフト更新］を選ぶ

96ページ

➡確認画面が表示されます。



2 ［はい］を選ぶ

➡「センターと通信中です　しばらくお待ちください」と一時的に表示されます。その後、ソフトウェア更新の対象となる機器がある場合は、ソフト更新機器選択画面が表示されます。

- ソフトウェアを更新する機器がない場合は、その旨が表示されますので、［了解］を選んでください。

3 ［エコ］を選ぶ

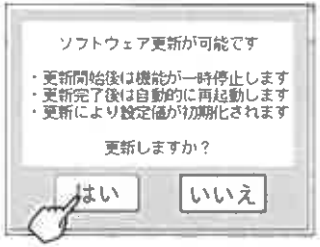
➡「ソフト更新可能か確認中です　しばらくお待ちください」と一時的に表示され、ソフトウェア更新の確認画面が表示されます。

注
- ソフトウェアを更新する必要がない機器は選べません。
- エネルギーモニター用ユニット以外の機器を選んだ場合は、それぞれの画面表示に従って、ソフトウェアの更新を行ってください。

4 ［はい］を選ぶ

➡ソフトウェア更新開始の確認画面が表示されます。

- ［いいえ］を選ぶと、ソフトウェア更新を中止できます。

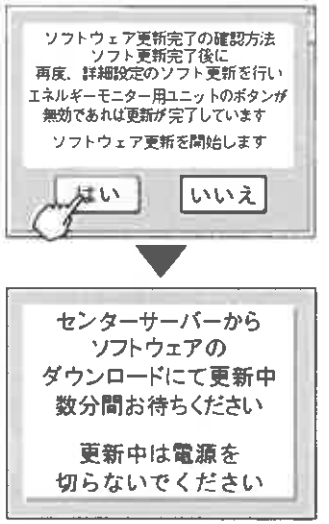


5 ［はい］を選ぶ

➡ソフトウェア更新中の画面が表示されます。

- ［いいえ］を選ぶと、ソフトウェア更新を中止できます。

注
- ソフトウェア更新にかかる時間はお使いのインターネット環境や回線の状況によって異なりますが、20分以上かかる場合があります。
- ソフトウェア更新中はデータの計測ができません。
- 「センターサーバーからソフトウェアのダウンロードにて更新中　…」が表示されているときは、電源を絶対に切らないでください。故障の原因となります。また、インターネット接続を切断しないでください。ソフトウェア更新失敗の原因となります。



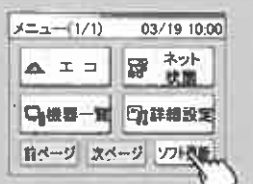
6 ソフトウェアの更新が終了すると、エネルギーモニター用ユニットは自動的に再起動する

注
- 再起動の際に「ネットワークに接続できません（V501）」が表示されますが、異常ではありません。
- エネルギーモニター用ユニットの画面が表示されるまでに10分程度かかります。しばらく待ってから操作してください。

メモ

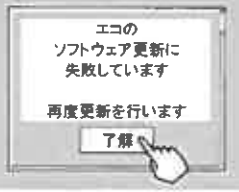
- ソフトウェア更新対象となる機器がある場合

①メニュー画面右下に［ソフト更新］が、更新を実行するまで常に表示されます。
［ソフト更新］を選ぶと確認画面が表示されますので、手順 **2** 以降の操作を行ってください。



②「アップデートのお知らせ　更新可能な機器があります　更新を行いますか?」画面が操作時に表示される場合があります。［はい］を選ぶとソフト更新機器選択画面が表示されますので、手順 **3** 以降の操作を行ってください。

- ソフトウェア更新に失敗した場合、メニュー画面を表示させようとすると右画面が表示されますので、［了解］を選んで再度ソフトウェア更新を行ってください。



故障かな?と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に、次の点をご確認ください。

状態	点検	処置	参照ページ
パソコンや「アクトビラ」対応テレビでインターネットに接続できない	パソコンや「アクトビラ」対応テレビなどの端末のLANインタフェースは、100BASE-TXまたは10BASE-Tに準拠していますか?	100BASE-TXまたは10BASE-Tに準拠したインタフェースをもつ端末(またはネットワーク･インタフェース･カード)を接続してください。	–
	モデム、ONU、スプリッタなどのインターネット接続機器は正しく接続されていますか?	各契約の図と説明をご確認いただき、適切なケーブルで正しく接続してください。	–
	モデムやルーターは正しく設定されていますか?	各機器の取扱説明書をご参照の上、正しく設定してください。あるいは各機器のメーカーにお問い合わせください。	–
パソコンや「アクトビラ」対応テレビなどの端末でメニュー画面が見れない	アドレスは正しく入力されていますか?	「メニュー画面を見る」を確認して、正しくアドレスを入力してください。	29
	電源スイッチが「切」になっていませんか?	電源スイッチを「入」にしてください。	10
	モード切換スイッチが「設定」になっていませんか?	モード切換スイッチを「通常」にしてください。	11
	端末のアクセス制限設定が「制限する」になっていませんか?	エネルギーモニターまたは他の端末でアクセス制限を確認して、「制限しない」に設定してください。	98
	状態LEDが点滅または警告LEDが点灯･点滅していませんか?	「LED表示について」を参照して、症状を確認し、処置を行ってください。	118
	ルーターのIPアドレスの一番右の数字ブロックが「220」になっていませんか?	IPアドレスの一番右の数字ブロックを「219」に変えてやり直してください。	–

状態	点検	処置	参照ページ
ポート遮断、帯域制御または異常検知を実施している	ネットワーク状態の確認でどのポートに異常パケットが入ってきているかを確認してください。異常パケットがなくなれば自動的に復旧します。	しばらく待っても正常に戻らない場合は、遮断、帯域制御または異常検知されているポートに接続されている機器をLAN用モジュラジャックから取りはずし、機器がウイルスに感染していたり故障していないか確かめてください。	–
各エネルギー情報が反映されない	他機器との接続に異常がありませんか?	接続状態を確認してください。	95
▲▼を選んでも操作ができない	選択項目の一番最初または最後の項目になっていませんか？	一番最初または最後の項目で▲または▼を選んでも操作はできません。	–
使用していない分岐回路に20W以上の消費電力が表示される	ECOマネシステム対応住宅分電盤の近くで、携帯電話を使用してませんか？	携帯電話をECOマネシステム対応住宅分電盤から1m以上離してください。	–

- それでも故障と思われる場合には電源スイッチを「切」にし、施工店に連絡してください。

エラーメッセージについて

操作中にエラーメッセージが現れた場合は、症状を確認いただき、処置を行ってください。

メッセージが現れる時	メッセージ（エラーコード）	症　状	参照ページ
ネットワーク設定の変更	アドレスが正しくありません (M001)	**範囲外のIPアドレスが入力されています。** • 正しいIPアドレスを入力してください。	106
	入力してください (M002)	**IPアドレスが空白です。** • IPアドレスを入力してください。	
	入力してください (M004)	**サブネットマスクが空白です。** • サブネットマスクを入力してください。	
	アドレスが正しくありません (M005)	**範囲外のデフォルトゲートウェイのアドレスが入力されています。** • 正しいデフォルトゲートウェイアドレスを入力してください。	
	アドレスが正しくありません (M007)	**範囲外のDNSサーバーアドレスが入力されています。** • 正しいDNSサーバーアドレスを入力してください。	
	サブネットマスクが正しくありません (M009)	**範囲外のサブネットマスクが入力されています。** • 正しいサブネットマスクを入力してください。	
	ネットワーク情報が登録されておりません (M010)	**IPアドレスまたはサブネットマスクが入力されていません。** • IPアドレスとサブネットマスクを入力してください。	
	アドレスが正しくありません (M012)	**IPアドレスとデフォルトゲートウェイが異なるサブネットに設定されています。** • IPアドレスとデフォルトゲートウェイは同じサブネットになるように設定してください。	

メッセージが現れる時	メッセージ（エラーコード）	症状	参照ページ
ネットワーク設定の変更	アドレスが正しくありません (M013)	**IPアドレスとデフォルトゲートウェイが同じアドレスに設定されています。** • IPアドレスとデフォルトゲートウェイは異なるアドレスにしてください。	106
	アドレスが正しくありません (M014)	**IPアドレスとDNSサーバーアドレスが同じアドレスに設定されています。** • IPアドレスとDNSサーバーは異なるアドレスにしてください。	
	アドレスが正しくありません (M015)	**IPアドレス、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのいずれかが127.*.*.*のアドレスに設定されました。** • 正しいアドレスを入力してください。	
アクセス制限設定	認証に失敗しました 再度入力しますか (M8001)	**暗証番号が誤っています。** • 正しい暗証番号を入力してください。 • 暗証番号を忘れてしまった場合は、リセットボタンを5秒以上長押しして工場出荷状態に初期化してください。 ※すべての設定内容が初期化されますのでご注意ください。	98
	登録に失敗しました (M8002)	**アクセス制限設定が上限値（50件）を超えているか、アクセスした端末のポート割当が正しくありません。** • アクセス制限は50件以下で設定してください。 • 50件以下の場合は、5分程度待って再度やり直してください。	

次ページへ続く

メッセージが現れる時	メッセージ（エラーコード）	症状	参照ページ
時刻設定	入力値が正しくありません (M8011)	**範囲外の「年」が入力されました。** • 正しい値を入力してください。	32
	入力値が正しくありません (M8012)	**範囲外の「月」が入力されました。** • 正しい値を入力してください。	
	入力値が正しくありません (M8013)	**範囲外の「日」が入力されました。** • 正しい値を入力してください。	
	入力値が正しくありません (M8014)	**範囲外の「時」が入力されました。** • 正しい値を入力してください。	
	入力値が正しくありません (M8015)	**範囲外の「分」が入力されました。** • 正しい値を入力してください。	
	日付が無効です (M8016)	**設定した日付が誤っています。** • 日付を正しい値に入力し直してください。	
メニュー表示順設定	オンライン状態のため削除できません (M8031)	**オンライン状態の設備機器はメニューから削除できません。** • 削除したい場合は、設備機器を取りはずすか、設備機器の電源を「切」にしてから再度やり直してください。	97
暗証番号設定	認証に失敗しました 再度入力しますか (M8061)	**暗証番号が誤っています。** • 正しい暗証番号を入力してください。 • 暗証番号を忘れてしまった場合は、リセットボタンを5秒以上長押しして工場出荷状態に初期化してください。 ※すべての設定内容が初期化されますのでご注意ください。	34
	変更に失敗しました (M8062)	**4ケタ以外の暗証番号が入力されています。** • 暗証番号を4ケタにして、再度やり直してください。	

メッセージが現れる時	メッセージ（エラーコード）	症状	参照ページ
センター通信失敗	センターサーバーとの通信に失敗しました (M8071～M8077)	**センターサーバーと通信できません。** • ネットワーク設定が正しいか確認してください。 • もう一度同じ操作をしてみてください。	–
AV機器設定	認証に失敗しました 再度入力しますか (M8081)	**暗証番号が誤っています。** • 正しい暗証番号を入力してください。 • 暗証番号を忘れてしまった場合は、リセットボタンを5秒以上長押しして工場出荷状態に初期化してください。 ※すべての設定内容が初期化されますのでご注意ください。	34
	操作中の機器は削除できません (M8082)	**操作中の機器は削除できません。** • 削除したい場合は、設備機器を取りはずすか、設備機器の電源を「切」にしてから再度やり直してください。	103
本機にアクセス時	現在、宅内からの操作はできません (M031)	**機器リストを取得できない状態です。** • 時間をおいて再度確認してください。	–
	分電盤と通信できません (M8101)	**ECOマネシステム対応住宅分電盤と通信できない状態です。** • 施工店にご連絡ください。	
	ガスメーターと通信できません (M8102)	**パルス発信器付ガスメーターからの信号が異常です。** • 施工店にご連絡ください。	
CO2換算係数設定	入力値が正しくありません (M8111)	**CO2換算係数設定で0.00kgCO2/kWh、または入力なしで登録ボタンが押されました。** • CO2換算係数を入力してください。	42

次ページへ続く

メッセージが現れる時	メッセージ(エラーコード)	症状	参照ページ
電気料金(一律単価)表示設定	電気料金を入力してください (M8121)	**電気料金設定で0円、または入力なしで登録ボタンが押されました。** • 電気料金を入力してください。	88
電気料金(深夜電力)表示設定	時間設定が正しくありません (M8131)	**深夜電力時間設定の昼～夜と夜～昼の境界時間に同じ時間が設定されています。** • 昼～夜と夜～昼の境界時間は異なる時間に設定してください。	88
	入力値が正しくありません (M8132)	**入力した時間が範囲外です。** • 0～23で入力してください。	
	電気料金を入力してください (M8133)	**電気料金設定で0円、または入力なしで登録ボタンが押されました。** • 電気料金を入力してください。	
電気料金(オール電化)表示設定	時間設定が正しくありません (M8141)	**オール電化時間設定で設定された時間の前後関係が正しくありません。** • 正しい値を入力してください。	90
	入力値が正しくありません (M8142)	**入力した時間が範囲外です。** • 0～23で入力してください。	
	電気料金を入力してください (M8143)	**電気料金設定で0円、または入力なしで登録ボタンが押されました。** • 電気料金を入力してください。	
ガス料金表示設定	ガス料金設定が正しくありません (M8151)	**ガス料金設定で0円、または入力なしで登録ボタンが押されました。** • ガス料金を入力してください。	93
水(水道)料金表示設定	水(水道)料金設定が正しくありません (M8161)	**水(水道)料金設定で0円、または入力なしで登録ボタンが押されました。** • 水(水道)料金を入力してください。	94
売電力料金表示設定	売電力料金設定が正しくありません (M8171)	**売電力料金設定で0円、または入力なしで登録ボタンが押されました。** • 売電力料金を入力してください。	92

メッセージが現れる時	メッセージ(エラーコード)	症状	参照ページ
目標達成報知時刻設定	時刻が正しくありません (M8181)	**入力した時間が範囲外です。** • 0:00～23:59で入力してください。	86
「ECHONET Lite」対応エアコン制御時	制御できませんでした (M8301)	**エアコンの制御ができませんでした。** • エアコンに異常がないことを確認してください。	74
	現在、制御中のため使用できません (M8302)	**他の表示機器(エネルギーモニター/「アクトビラ」対応デジタルテレビ/パソコンなど)から制御しています。** • しばらく待ってから再度操作してください。	
	オフライン状態のためエアコンを制御できません (M8303)	**エアコンと通信できない状態です。** • エアコンに異常がないことを確認してください。	

メモ　エラーコードの先頭のアルファベットが「V」の場合は、エネルギーモニターの取扱説明書の「エラーメッセージについて」を参照してください。

LED表示について

■状態LED（赤・緑色）

点灯状態で、エネルギーモニター用ユニットの各種状態がわかります。点滅している場合は症状を確認いただき、処置を行ってください。

点灯状態	症状		優先度
消灯	電源「切」	**電源スイッチが「切」になっています。** • 電源スイッチを「入」にしてください。 • 「入」にしても消灯している場合は本体が故障しています。施工店にご連絡ください。	−
緑色点灯	インターネット回線接続中	――	−
緑色連続早点滅（1秒間に2回点滅）	設定モード状態	**モード切換スイッチが、「設定」になっています。** • 「通常」に切り替えてください。（切り替え時には本体が再起動します。）	−
	ソフトウェア更新中	**本体のソフトウェアを自動アップデート中です。** • そのまましばらくお待ちください。	
緑色連続点滅（1秒間に1回点滅）	IPアドレス取得中	**IPアドレス取得などの起動処理中です。** • 電源投入時やモード切換スイッチで切り替えたとき、リセットボタンなどの操作によりリセットしたときに、連続点滅します。点灯または他の点滅状態になるまで待って、症状を確認してください。	−
緑色2回点滅	ルーター未接続	**ルーター（DHCP）が検出できないためにAutoIPで動作しています。** ※AutoIPとはDHCPモードに設定していてDHCPサーバーからIPアドレスを取得できない場合に、自動的にIPアドレスを割り当てる機能です。 • ルーターに異常がないか、ご確認ください。 • 宅内LANにルーターを接続していない場合は、この点灯状態で正常です。 • そのままでも宅内だけでの利用は可能です。 • インターネットに接続するためにルーターを新たに設置した場合やルーターを取り替えた場合は、特別な操作をしなくても10分程度たてばDHCPモードに切り替わり、ルーターが利用できるようになります。	4

点灯状態	症状		優先度
緑色3回点滅	インターネット回線未接続	**センターサーバーと通信できていません。** • インターネット回線に異常がないか、ご確認ください。 • インターネット回線を接続していない場合は、この点滅状態で正常です。	5
赤色連続点滅（2秒間に1回点滅）	住宅分電盤通信エラー	**ECOマネシステム対応住宅分電盤と通信ができない状態です。** • 施工店にご連絡ください。	3
赤色4回点滅	ネットワークエラー	**IPアドレスが重複しています。** • ネットワーク設定（☞106ページ）の変更で固定IPを選んでいる場合、設定したIPアドレスを他の設備機器やパソコンなどの端末と異なるアドレスに変更してください。 • DHCPでお使いの場合、他の機器を固定IPで使用していて同じIPアドレスになっていないか確認してください。	2
赤色5回点滅	機器エラー	**本体に異常が発生しています。** • ソフトウェアのアップデート中にこの点滅になった場合は、アップデートが正常に完了していません。電源スイッチを一度「切」にした後、再度「入」にしてアップデートをやり直してください。 • ソフトウェアのアップデートを行っていないのにこの点滅になった場合は、本体が故障しています。施工店にご連絡ください。	1

複数の状態が同時に発生した場合は、優先度の高い方（優先度の数字が低い方）を表示します。

※点滅は、3秒ごとに上記回数点滅します（連続点滅は除く）。

次ページへ続く

■ガス状態LED（緑色）

点灯状態で、パルス発信器付ガスメーターに関する各種状態がわかります。消灯または点灯している場合は症状を確認していただき、処置を行ってください。

点灯状態	症状		優先度
消灯	メーター未接続	**パルス発信器付ガスメーターからの信号を受信できません。** • 施工店にご連絡ください。 • パルス発信器付ガスメーターを接続していない場合は、この状態が正常です。	–
緑色点滅（3秒間に1回点滅）	メーター接続異常	**パルス発信器付ガスメーターからの信号が異常です。** • 施工店にご連絡ください。	–
緑色点灯	正常	―――	–

■水道状態LED（緑色）

点灯状態で、パルス発信式流量計（水道）に関する状態がわかります。消灯している場合は症状を確認していただき、処置を行ってください。

点灯状態	症状		優先度
消灯	メーター未接続	**パルス発信式流量計（水道）からの信号を受信できません。** • 施工店にご連絡ください。 • パルス発信式流量計（水道）を接続していない場合は、この状態が正常です。	–
緑色点灯	正常	―――	–

■警告LED（赤色）

点灯状態で、各種状態が分かります。点灯または点滅している場合は、症状を確認いただき、処置を行ってください。

点灯状態	症状		優先度
消灯	正常	**セキュリティ異常がなく、ネットワークが良好な状態です。**	–
点灯	ルーター接続エラー	**ルーターが設備ポートに接続されています。** • ルーターをルーターポートに接続し直してください。 ※エラーが解除されるまでの間、ルーターが接続された設備ポートが遮断された状態になります。正常に接続し直してから5分程度すると遮断が解除されます。	1
1回点滅	ポート遮断実施中	**エネルギーモニター用ユニットがルーターポートまたは設備ポートを遮断しています。** • エネルギーモニター用ユニットは、大量の異常パケットがルーターポートまたは設備ポートから入ってきた場合は、そのポートを遮断します。「故障かな?と思ったら」の「ポート遮断、帯域制御または異常検知を実施している」状態を参照して、点検と処置を行ってください。 111ページ	2
2回点滅	ルーターポートの異常検出中	**ルーターポートの異常を検出しています。**	3
3回点滅	接続ポート間違い発生中	**設備ポートに一般機器（パソコンなど）が接続されている、あるいは設備機器がルーターポートに接続されています。**	4

仕様

●定格

電源電圧	AC 100 V　50 / 60 Hz
消費電力	約5 W
使用温度範囲	0 ℃~+40 ℃
寸法	高さ 200 mm × 幅100 mm × 奥行 50 mm
質量	約350 g（ボックス除く）

●接続端子

LAN端子	系統数	3
	適用プラグ	RJ45モジュラプラグ（8極8心）
	接続方式	10BASE-T/100BASE-TX （全/半二重･オートネゴシエーション）
	伝送方式	IEEE802.3　10BASE-T、 IEEE802.3u 100BASE-TX
燃料電池端子	系統数	1
	通信仕様	Aライン
水道メーター端子	系統数	1
	接続方式	無電圧接点（2線式）
ガスメーター端子	系統数	1
	接続方式	無電圧接点（3線式C接点）
ECO端子	系統数	1
	準拠規格	RS485

●計測データの保存期間

データは下記日時分を保存します。

1時間ごとの使用量	約3カ月分（93日分）
1日ごとの使用量	約13カ月分（403日分）
1カ月ごとの使用量	10年分
1年ごとの使用量	10年分

- この値を超えた場合は、古いデータから順番に消去して新しいデータを保存します。

ソフトウェアに関するお知らせ

本製品は、NetBSD カーネルから一部を移植したソフトウェアが含まれています。

NetBSD カーネルは以下のバークレー形式のライセンスで提供されており、本製品は、このライセンスが基本的に適用されるソフトウェアが含まれています。

Copyright(c)
The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms,with or without modification,are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice,this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice,this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   This product includes software developed by the University of California,Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

ただし、NetBSD カーネルの一部は、上記と異なる著作権表示がつけられていたり、バークレー形式のライセンスと若干表現の違うライセンスで提供されているものがあります。

詳細につきましては、NetBSD カーネルのソースコードをご参照ください。

NetBSD カーネルのソースコードは、NetBSD CVS Repositories (http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/)から参照でき、この商品は、次のディレクトリのソースコードの一部を使用しています。

http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/kern/
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/net/
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/netinet/

次ページへ続く

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「OpenSSL(「OriginalSSLeay」と称するライブラリーを含む)」が搭載されております。
当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は、以下の内容をお客様に通知する義務があります。

以下内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

〈OpenSSL〉

Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.
Copyright (c) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/).

=OpenSSL License=

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission.For written permission,please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be calld "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=Original SSLeay License=

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
   The word "cryptographic" can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

接続できる機器について

ドアホン・センサーカメラ対応ビエラ（パナソニック（株）製）の品番は下記のとおりです。（2012年6月現在。）

テレビ（ビエラ）

デジタルハイビジョンテレビ

PZR900シリーズ※	ZT5シリーズ	ET5シリーズ
PZ85シリーズ※	WT5シリーズ	E5シリーズ
PZ800シリーズ※	VT5シリーズ	RB3シリーズ
PZ80シリーズ※	VT3シリーズ	R3シリーズ
PX80シリーズ※	VT2シリーズ※	R2Bシリーズ※
LZ85シリーズ※	RT2Bシリーズ	R2シリーズ※
LZ80シリーズ※	DT5シリーズ	S3シリーズ
LX80シリーズ※	DT3シリーズ	S2シリーズ※
TH-17LX8※	GT5シリーズ	X50シリーズ
	GT3シリーズ	X5シリーズ
	ST3シリーズ	X3シリーズ
	V2シリーズ※	X2シリーズ※
	V1シリーズ※	X1シリーズ※
	D2シリーズ※	C10シリーズ※
	G3シリーズ	C2シリーズ※
	G2シリーズ※	C1シリーズ※
	G1シリーズ※	F1シリーズ※
	Z1シリーズ※	

※生産終了品

メモ　• 接続できる機器についての最新情報は、ECOマネシステムホームページにてご確認ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れなどは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電　話（　　）　－

お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは…

「故障かな?と思ったら」（☞110ページ）でご確認のあと、直らないときはお買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名　エネルギーモニター用ユニット

●品　番

●故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定にしたがって出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

修理料金は次の内容で構成されています。

【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用

【部品代】部品および補助材料代

【出張料】技術者を派遣する費用

●補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、このエネルギーモニター用ユニットの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

次ページへ続く

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などは、ホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/

●修理に関するご相談は……

パナソニック エコソリューションズ修理ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号) **0570-081-365**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。365日／受付9時～20時

ただし、携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などは下記の電話番号へおかけください。

大阪 ☎06-6906-1090

札幌 ☎011-261-6401㊟　名古屋 ☎052-551-7900㊟

東京 ☎03-5392-7190㊟　福岡 ☎092-622-0531㊟

※㊟印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合…**06-6907-1187**

■FAX　フリーダイヤル …**0120-878-236**

※ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
電話 0120-283338 FAX 0120-551626
© Panasonic Corporation 2012-2013
8A3 F05 00002　KS0412-10113Mj